

遠野市長記者懇談会(令和5年8月23日) 発表項目

■日時 令和5年8月23日(水) 11:00~12:00

■場所 本庁舎多目的大会議室

【発表項目】

1 新型コロナウイルス感染症対策に係る取組等の状況について (資料No. 1)

2 令和5年度遠野市一般会計補正予算(第4号)案の概要について (資料No. 2)

**3 第2次遠野市総合計画後期基本計画「まちづくり指標」の令和4年度実績及び
第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略におけるKPIの令和4年度実績等について**
(資料No. 3)

今後の主要行事、お知らせなど

- (1) 遠野市防災訓練の実施について (お知らせNo. 1)
- (2) 日本のふるさと遠野まつりの開催について (別添チラシ)
- (3) “わ”で奏でる東日本応援コンサート 2023in 遠野の開催について (別添チラシ)

資料 No. 1

令和5年8月23日
遠野市記者懇談会資料
健康福祉部
新型コロナウイルス対策室

新型コロナウイルス感染症対策に係る 取組等の状況について

令和5年8月23日
遠野市

2. 取組概要

影響の長期化を視野に入れつつ、各フェーズに応じた「感染予防対策」と「経済対策」の2本柱の対策を展開する。

令和2年2月～令和3年9月30日

フェーズ① 緊急初動期
国内感染確認～緊急事態宣言等

- ・急速な感染拡大への対応
- ・国・県の指示に基づく緊急的対処
- ・新しい日常の普及・啓発

令和3年10月1日～

フェーズ② ウイズ・コロナ期
緊急事態宣言解除後の段階的移行

- ・感染予防と社会経済活動の両立
- ・ワクチン接種の進展
- ・変異株等による感染再拡大への対応

令和4年度以降

フェーズ③ ポスト・コロナ期
抗ウイルス薬等の普及による収束

- ・抗ウイルス薬等の普及による医学的収束
- ・社会経済活動の本格回復

令和5年
5月8日～

感染症法
5類移行

国は、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを、2類相当から5類に移行することを正式決定。移行後に市民生活に混乱が生じないように、国の方針を踏まえつつ、関係機関と連携し適切な取り組みを講じます。

フェーズに応じた対策

スピード感ある事業展開

幅広いニーズへの対応

国・県事業との連動



感染予防対策

ワクチン接種
の円滑な実施

迅速で強靱な
情報ネット

新しい日常の
普及・啓発

衛生用品の
調達・備蓄

診療・検査
医療提供体制

施設等での
感染防止対策

感染発生時の
緊急対応

教育環境の
確保・充実

妊産婦・高齢
者等への配慮

避難所運営
における対策

¥ 経済対策

原油・物価等
高騰対策

各種
給付金事業

事業継続
雇用確保

生活困窮者・
低所得者支援

地元消費
喚起

観光等誘客
キャンペーン

商工労働
相談窓口

デジタル化
生産性向上

移住・定住
ワーケーション

産業・生産
基盤強化

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金

2本柱

国・県事業

市独自事業

3. R5年度新型コロナウイルス対策事業

(1) 総事業費 約4億8,731万円 (全31事業)

		☑️感染予防対策	¥経済対策	合計
第1弾	当初予算	43,684千円(5事業)	120,328千円(11事業)	164,012千円(16事業)
第2弾	1号補正 (4/7専決処分)	105,590千円(2事業)	25,679千円(1事業)	131,269千円(3事業)
第3弾	2号補正	—	184,720千円(10事業)	184,720千円(10事業)
第4弾	4号補正	2,395千円(1事業増額)	4,923千円(2事業)	7,318千円(2事業)
合計		151,669千円(7事業)	335,650千円(24事業)	487,319千円(31事業)

(2) 事業概要

		千円	
	事業(施策)名	概要	予算額
感染 予 防	子育て施設訪問支援	保育施設等に遊具等の消毒業務を行うヘルパーを派遣し、職員の負担軽減と感染予防を図る。	2,228
	保育施設等感染症対策	保育施設等に感染予防衛生用品、消耗品等を配布し、感染予防を図る。	3,120
	小中学校感染症対策	小・中学校感染予防消耗品を購入し感染予防と学習環境の整備を図る。	4,200
	スクール・サポート・スタッフ配置	市内の小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置し、教員の業務支援や消毒作業等を行うことにより、教職員の負担軽減と感染症予防を図る。	33,936
	修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金	修学旅行のキャンセル料や日程変更等に係る追加費用を補助し、感染予防と保護者の負担軽減を図る。	200
	新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費	新型コロナウイルスのワクチン接種を実施し、新型コロナウイルスの感染拡大及び感染者の重症化の抑止を図る。	72,323
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	新型コロナウイルスのワクチン接種の体制を確保し、新型コロナウイルスの感染拡大及び感染者の重症化の抑止を図る。	33,267 2,395

当初

1号補正
4号補正

	事業(施策)名	概要	予算額
経済対策	遠野市出身学生等支援	遠野市出身学生等に食料品等の提供を行い、生活継続や学業継続を支援する。	2,828
	養殖飼料価格高騰対策補助金	飼料価格高騰の影響を受ける内水面養殖事業者に対し、価格高騰相当額の一部を補助する。	885
	特産品安定生産支援事業費補助金	原油、電力・ガス等の価格高騰の影響を受ける特産品生産団体に対し、価格高騰分相当額を支援し特産品の安定生産に資する。	1,143
	スマート農業等支援補助金	農林畜産業の振興を図るため、品質向上や生産性向上に資するスマート農業技術の導入を支援する。	7,850
	商い元気回復事業費補助金	商工団体や中小企業団体等が行う消費回復に向けた事業を支援する。	34,100
	事業資金緊急対策信用保証料補助金	資金繰りのため融資を受けた事業者を支援する。	4,200
	DX・GX生産性向上促進事業費補助金	業務効率化、省エネルギー化等のDX、GXに係る設備投資を行う市内事業者を支援する。	33,000
	新型コロナウイルス感染症対策観光振興補助金	観光業の回復に向け、市内観光事業者を支援する。	16,284
	学校給食物価高騰対策	物価高騰においても学校給食の質を保持するため、賄材料費の高騰分を補填し、保護者の負担軽減を図る。	9,756
	農業集落排水事業補助金	原油、電力・ガス等の価格高騰の影響を受ける公営企業に対し、施設運営に要する燃料費の補助を行い、使用者の負担軽減を図る。	592
公共下水道事業補助金	原油、電力・ガス等の価格高騰の影響を受ける公営企業に対し、施設運営に要する燃料費の補助を行い、使用者の負担軽減を図る。	9,690	
	子育て世帯生活支援特別給付金	食費等の物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯に、子育て世帯生活支援特別給付金(対象児童1人に5万円)を支給する。 【対象者】①低所得のひとり親世帯(児童扶養手当受給者等) ②その他低所得の子育て世帯	25,679

当初

1号補正

(単位：千円)

	事業(施策)名	概要	予算額
経済対策	公共交通事業者支援事業費補助金	原油価格高騰対策として公共交通事業者に燃料高騰分の一部を補助する。	1,180
	物価高騰緊急支援・非課税世帯給付金	物価高騰の負担感が大きい低所得者世帯に物価高騰緊急支援・非課税世帯給付金を支給する。	115,760
	社会福祉事業者燃料費高騰対策支援事業費補助金	原油価格高騰対策として社会福祉事業者に保有自動車に係る燃料高騰分の一部を補助する。	4,360
	介護保険・障がい福祉施設光熱費高騰対策支援事業費補助金	エネルギー価格高騰の影響を受ける介護・高齢者及び障がい者施設に対し、施設運営に要する光熱費の補助を行う。	26,290
	子育て施設光熱費高騰対策支援事業費補助金(保育園、幼稚園等)	エネルギー価格高騰の影響を受ける保育施設等に対し、施設運営に要する光熱費の補助を行う。	2,498
	スマートエコライフ推進事業費交付金	エネルギー価格高騰対策として省エネ家電等への買い替えに要した経費に対し、市内で利用可能な商品券を交付する。	1,000
	乳用子牛等出荷緊急支援事業費補助金	搾乳のため乳用牛が産む乳用子牛等の初生牛市場の出荷に対し補助する。	9,000
	遠野産肥育素牛導入促進事業費補助金	市内で生産された黒毛和牛を肉用牛肥育素牛として購入した経費に対し補助する。	5,000
	地域内粗飼料供給支援事業費補助金	市内の生産者が作付・収穫した牧草の購入費の一部を補助する。	4,500
	畜産経営アクションプランモデル実践事業	畜産農家が安定した経営に取り組めるよう、遠野市畜産振興公社に委託し、畜産経営アクションプランモデル実践事業を行う。	15,132

2号補正

(単位：千円)

	事業(施策)名	概要	予算額
経済対策	し尿汲み取り事業者原油高騰物価対策事業費補助金	原油価格高騰対策として、し尿汲み取り事業者にし尿収集運搬に係る燃料費高騰分を補助する。	1,165
	収入保険加入促進事業費補助金	農産物の価格低下等による収入減を補てんするための「収入保険制度」への加入を促進する。	3,758

4号補正

(3) 令和5年度対策事業（感染予防） 進捗状況（7月末現在） （単位：千円）

事業（施策）名	予算号	予算額	実施状況	実績詳細
子育て施設訪問支援	当初	2,228	○	対象施設 保育所、児童館等28施設 登録ヘルパー人数 13名、ヘルパー派遣回数 延べ366回
保育施設等感染症対策	〃	3,120	△	感染状況に応じて、対応を検討
小中学校感染症対策	〃	4,200	○	学校において感染予防対策に係る消耗品を発注中
スクール・サポート・スタッフ配置	〃	33,936	○	小中学校11校にスクール・サポート・スタッフを配置
修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金	〃	200	▲	新型コロナウイルス感染症に係る感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の位置付けが、5類感染症に変更されたことに伴い、5月8日付けで補助金を廃止
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費	1号	72,323	○	春開始接種の接種券を発送。5月21日、5月28日、6月24日及び7月1日に集団接種を実施。秋開始接種の準備中
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	〃	33,267	○	春開始接種の接種券を発送。5月21日、5月28日、6月24日及び7月1日に集団接種を実施。秋開始接種の準備中

◎…事業完了 ○…着手済 △…未着手 ▲…廃止又は中止

(4) 令和5年度対策事業（経済対策）

進捗状況（7月末現在）

（単位：千円）

事業（施策）名	予算号	予算額	実施状況	実績詳細
遠野市出身学生等支援	当初	2,828	○	申請件数146件（申請期限を8月17日まで延長） 特産品1回目9月、2回目1月発送予定
養殖飼料価格高騰対策補助金	〃	885	○	申請受付中
特産品安定生産支援事業費補助金	〃	1,143	○	補助金交付決定件数：2件、補助金交付決定額：1,143千円
スマート農業等支援補助金	〃	7,850	○	申請受付中
商い元気回復事業費補助金	〃	34,100	○	補助金交付決定件数78件 補助金交付決定額22,250千円
事業資金緊急対策信用保証料補助金	〃	4,200	○	補助金交付決定件数12件 補助金交付決定額448千円
DX・GX生産性向上促進事業費補助金	〃	33,000	○	申請受付中
新型コロナウイルス感染症対策観光振興補助金	〃	16,284	○	宿泊・回遊クーポン事業（5月8日～10月31日）、2次交通対策事業（4月29日～10月9日）、観光振興チャレンジ補助金
学校給食物価高騰対策	〃	9,756	○	賄材料費を補填し保護者の負担軽減及び給食の質の保持を図っている。7月末現在1,789千円
農業集落排水事業補助金	〃	592	△	施設運営に要する燃料費に対する補助 実績に応じて年度末に一括で補助を予定
公共下水道事業補助金	〃	9,690	△	施設運営に要する燃料費に対する補助 実績に応じて年度末に一括で補助を予定
子育て世帯生活支援特別給付金	1号	25,679	○	○ひとり親世帯分 児童扶養手当受給者分(完了) 給付対象者164人、 給付額12,300千円 公的年金受給者及び家計急変者分 給付決定者5人、 給付額500千円 ○ひとり親世帯以外分 支給対象者95人(支給対象児童191人)、給付額9,550千円

◎…事業完了 ○…着手済 △…未着手 ▲…廃止又は中止

(単位：千円)

事業（施策）名	予算号	予算額	実施状況	実績詳細
公共交通事業者支援事業費補助金	2号	1,180	◎	補助金交付決定件数：4件 補助金交付決定額：1,140千円
物価高騰緊急支援・非課税世帯給付金	2号	115,760	○	8月下旬に対象世帯に通知発送予定
社会福祉事業者燃料費高騰対策支援事業費補助金	2号	4,360	△	福祉活動用車両に対する定額補助(2万円/1台) 財源確定後、補助金交付
介護保険・障がい福祉施設光熱費高騰対策支援事業費補助金	2号	26,290	△	施設運営に係る光熱費高騰分の2分の1を補助 財源確定後、8月を基準にコロナ前と上昇率を算定し補助交付
子育て施設光熱費高騰対策支援事業費補助金(保育園、幼稚園等)	2号	2,498	△	施設運営に係る光熱費高騰分の2分の1を補助 財源確定後、8月を基準にコロナ前と上昇率を算定し補助交付
スマートエコライフ推進事業費交付金	2号	1,000	○	申請受付中(2件受付済)
乳用子牛等出荷緊急支援事業費補助金	2号	9,000	○	第1四半期分2,310千円交付済
遠野産肥育素牛導入促進事業費補助金	2号	5,000	○	申請受付中
地域内粗飼料供給支援事業費補助金	2号	4,500	○	申請受付中
畜産経営アクションプランモデル実践事業	2号	15,132	○	委託業務協議中

◎…事業完了 ○…着手済 △…未着手 ▲…廃止又は中止

4. 生活困窮者等への対応状況

令和5年7月末現在

(1) 税金等の猶予・減免・軽減等 (単位：件)

※コロナ関連のみ
※数値は実数(累計)

税金	納税猶予			納期延長			減免・軽減		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4	R2	R3	R4
個人市民税	3	10	0	5	0	0	0	0	0
法人市民税	3	0	0	19	4	0	0	0	0
固定資産税	0	0	0	6	0	0	0	90	0
軽自動車税	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国保税	0	0	0	6	0	0	13	5	1

※R4年度未終了

使用料等	猶予			
	R2	R3	R4	R5
上・下水道	2	0	0	0
保育料	0	0	0	0
遠野テレビ	0	0	0	0
市営住宅	0	0	0	0
市奨学金	0	0	0	0

保険料等	減免			
	R2	R3	R4	R5
介護保険	3	0	0	0

保険料等	猶予			
	R2	R3	R4	R5
後期高齢者医療制度	3	0	0	0

(3) 各種相談窓口

◎ 自立生活相談窓口

ア. コロナの影響による新規相談

R2…12件 R3…19件 R4…2件 R5…0件

イ. 住居確保給付金の新規申請

R2…1件 R3…0件 R4…1件 R5…0件

◎ 生活保護窓口(コロナの影響による新規受給者)

R2…2件 R3…0件 R4…0件 R5…0件

(4) その他

◎ 子育て世帯生活支援特別給付金

(ひとり親世帯の家計急変要件該当件数)

R2…7件 R3…5件 R4…4件 R5…3件

◎ 就学援助費(コロナによる家計急変分)

R3…4件 ※R3のみ実施

(2) 緊急小口資金、総合支援資金

※コロナ特例分のみ(R4年9月末終了)、件数及び貸付額は延べ ※貸付額単位：万円

緊急小口資金

	R2	R3	R4
申請件数	50	21	5
貸付額	915	415	100

総合支援資金

	R2	R3	R4
申請件数	10	17	0
貸付額	455	718	0

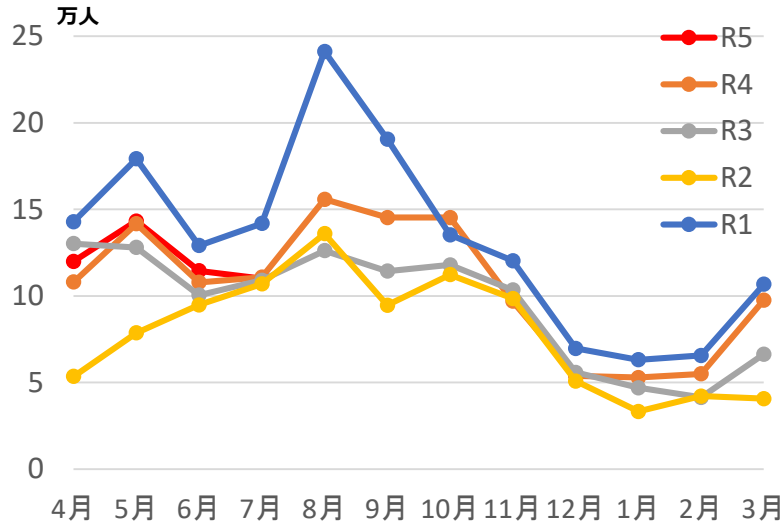
5. 観光・宿泊業への影響

令和5年7月末現在

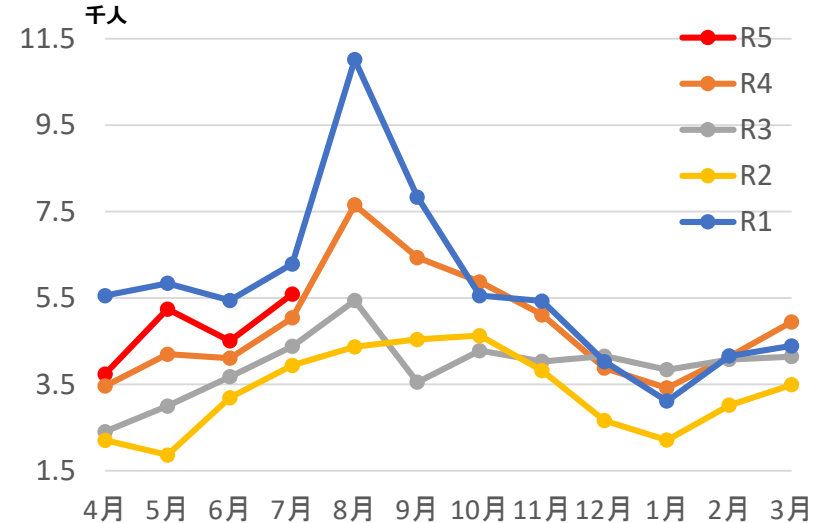
(1) 入込状況等

観光施設等入込推移

※景観施設、行祭事含む



宿泊施設入込推移



感染拡大前との比較 ※景観施設、行祭事含む

(単位：人)

	感染拡大前	1年目		2年目		3年目		4年目	
	R元年度	R2年度	R元年度比	R3年度	R元年度比	R4年度	R元年度比	R5年度 4～7月	R元年 同期比
観光施設	1,585,619	942,380	↓40.6%減	1,140,323	↓28.1%減	1,271,086	↓19.8%減	487,763	↓17.8%減
宿泊施設	68,640	39,920	↓41.8%減	46,966	↓31.6%減	58,255	↓15.1%減	19,079	↓17.5%減

お盆期間入込状況 (8/11～8/16)

お盆期間中の入込は、**対前年度比約13%増の66,673人**、**コロナ前の令和元年度比は約33%減**となった。12日の大雨や台風の影響により、一時的に休業となった施設や予約客のキャンセルなどもあったが、新型コロナウイルス感染症の制限もなくなったことにより、帰省客や旅行者が増加となった。

(2) 主要イベントの対応状況 (R5下半期)

○開催予定(縮小開催) △検討中 ×中止

イベント名 (開催時期)	対応状況			
	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
遠野市民駅伝 (10/1)	○開催予定	○開催	×中止	×中止
産業まつり (10/7・8) (同時開催: わらすっこ祭り 10/7のみ)	○開催予定	○開催	×中止	×中止
躍進みやもり祭 (10/15)	○開催予定	○開催	×中止	×中止
遠野市乗用馬市場 (10/15~17)	○開催予定	○開催 (関係者のみの参加)	○縮小開催 (関係者のみの参加)	○縮小開催 (関係者のみの参加)
市民芸術祭 (11/3~11/5)	○開催予定	○開催	○縮小開催 (内容の一部中止 等)	○縮小開催 (内容の一部見直し 等)
キリン一番搾り とれたてホップ生ビール初飲み会 (11/6)	○開催予定	○開催 (関係者のみの参加)	×中止	○縮小開催 (関係者のみの参加)
明日の遠野の環境を考えるフォーラム (11/18)	○開催予定	○開催	○開催	○縮小開催 (関係者のみの参加)
消防出初式 (1/7)	○開催予定	○縮小開催	○分散型開催 (関係者のみの参加)	○分散型開催 (関係者のみの参加)
成人式「はたちのつどい」 (1/7)	○開催予定	○開催	○開催	○縮小開催 (オンライン中心)
遠野物語ファンタジー (2/24~25)	○開催予定	○開催	×中止	○縮小開催 (遠野テレビ生放送 等)
遠野町家のひなまつり (未定)	○開催予定	○開催	○開催	○開催
観光キャンペーン「遠野ふゆまつり」 (11月~3月)	○開催予定	○開催	○縮小開催 (内容の一部見直し 等)	○縮小開催 (内容の一部見直し 等)
上半期のイベント開催状況				

- ・遠野さくら祭り (4/22~5/7) … ○ 開催済み
- ・JR釜石線SL銀河運行 (3/25~6/11) … ○ 開催済み
- ・町民運動会 …○ 開催済み (遠野6/4・附馬牛6/4)、○ 開催予定 (上郷10/8)
△ 検討中 (その他)
- ・全国やぶさめ競技遠野大会 (6/4) … ○ 開催済み

- ・早池峰山入山式 (6/11) … ○ 開催済み
- ・東北馬力大会馬の里遠野大会 (6/25) …○ 開催済み
- ・遠野納涼花火まつり (8/15) … ○ 開催済み
- ・遠野ホップ収穫祭 (8/19・20) … ○ 開催済み
- ・日本のふるさと遠野まつり (9/16・17) … ○ 開催予定

6. 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等

(1) 接種実績

国の新型コロナウイルスワクチン接種記録システムより
令和5年8月14日(月)現在

年代別接種率

年代	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
6カ月～4歳	約6.5%	約5.3%	約4.4%	—	—	—
5～11歳	約35%	約34%	約19%	約6.8%	—	—
12～19歳	約85%	約85%	約61%	約33%	約0.1%	0%
20代	約97%	約97%	約68%	約34%	約8.1%	約3.5%
30代	約86%	約86%	約67%	約40%	約9.6%	約4.8%
40代	約90%	約90%	約77%	約51%	約14%	約7.1%
50代	約91%	約91%	約82%	約64%	約18%	約9.8%
60代	約90%	約90%	約86%	約79%	約59%	約34%
70代	約99%	約99%	約97%	約94%	約89%	約66%
80代	約93%	約92%	約90%	約87%	約81%	約58%
90代以上	約106%	約105%	約103%	約96%	約85%	約56%
全体	約91.3% 23,123人 国:約80.9% 県:約85.8%	約91.3% 22,999人 国:約79.9% 県:約84.7%	約80.1% 20,297人 国:約68.8% 県:約77.6%	約65.1% 16,482人 国:— 県:約60.0%	約42.7% 10,814人 国:— 県:約35.5%	約28.1% 7,119人 国:— 県:約23.1%

オミクロン株対応ワクチン接種延べ人数

12歳～64歳	65歳以上	合計
6,831人	9,164人	15,995人

(2) 実施経過

令和3年

- 2月1日 … 新型コロナウイルスワクチン接種対策室設置
- 3月上旬 … 医療従事者等先行接種開始
- 4月中旬 … 65歳以上高齢者接種開始
- 5月下旬 … 国の方針に基づき65歳以上高齢者の接種計画を前倒し
- 7月末 … 65歳以上高齢者概ね完了
… 64歳以下接種ネット予約開始（第1弾60～64歳対象）
- 8月中旬 … 予約対象を全世代に拡大（12歳以上）
- 10月28日 … 一般予約受付終了
- 11月末 … 全世代への初回接種完了
- 12月20日 … 追加接種（3回目）開始（医療従事者等）

令和4年

- 1月11日 … 施設入所者等への追加接種（3回目）開始
- 2月21日 … 65歳以上への追加接種（3回目）開始
- 3月下旬 … 64歳以下への追加接種（3回目）開始
- 3月30日 … 小児初回接種（5～11歳）開始
- 4月20日 … 12歳～17歳への追加接種（3回目）開始
- 6月17日 … 追加接種（4回目）開始（医療従事者等）
- 7月25日 … 60歳以上への追加接種（4回目）開始
- 10月17日 … オミクロン株対応ワクチン接種（12歳以上、3・4・5回目）開始
- 10月22日 … 小児（5～11歳）3回目接種開始
- 11月22日 … 乳幼児接種（6カ月～4歳、全3回）開始

令和5年

- 3月28日 … 小児オミクロン株対応ワクチン接種 開始
- 5月15日 … 令和5年春開始接種 開始（オミクロン株対応ワクチン追加接種）
- 5～7月 … 集団接種実施（2,347人/2,754人）85.2%
- 9月20日 … 秋開始接種（個別）開始
（対象者：約23,000人）

※接種率について

接種率は国及び県の算出方法に統一し、令和4年4月1日現在の人口に対する接種者数の割合として算出しています。なお、全体の接種率においては、全人口に対する接種者数の割合であり、ワクチン接種の対象ではない年代（0～5か月児）も含まれます。

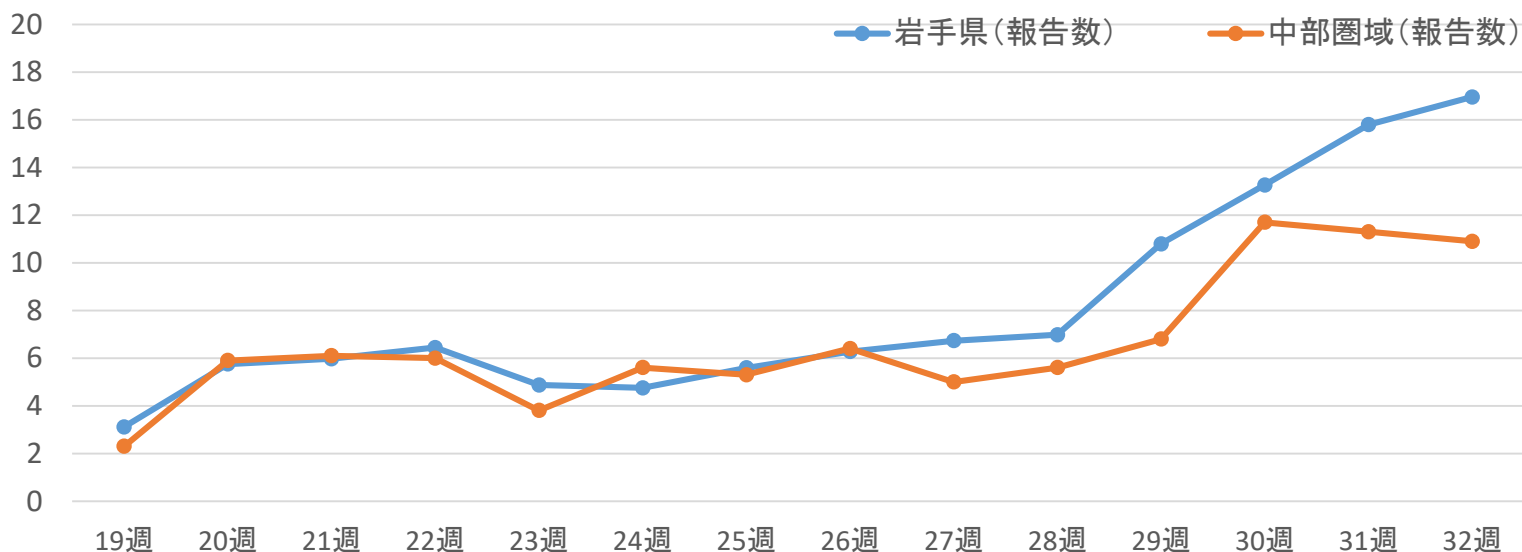
「接種回数」「接種対象者数」の算出基準日が異なるため、接種率が100%を超える場合があります。

7. 感染状況について

(1) 定点あたり報告数

- 中部圏域における定点あたり報告数については、6人前後で推移してきた。30週には、11.7人まで増加したが、その後、減少傾向となっている。

(単位:人)



※ 定点とは、感染症の流行状況を知るために、一定の基準に従って1週間当たりの感染症罹患者の数を報告する医療機関のこと。

※ 定点あたり報告数とは、1週間に一つの定点(医療機関)あたり何人の患者の報告があったかを表す数値。この数値によって、感染症の流行状況が把握できる。

(単位:人)

週		岩手県(28週まで63カ所 29週から62カ所)		中部圏域(10カ所)	
		報告数	実人数	報告数	実人数
19週	5/8～5/14	3.11	196	2.30	23
20週	5/15～5/21	5.75	362	5.90	59
21週	5/22～5/28	5.97	376	6.10	61
22週	5/29～6/4	6.44	406	6.00	60
23週	6/5～6/11	4.87	307	3.80	38
24週	6/12～6/18	4.75	299	5.60	56
25週	6/19～6/25	5.59	352	5.30	53
26週	6/26～7/2	6.27	395	6.40	64
27週	7/3～7/9	6.73	424	5.00	50
28週	7/10～7/16	6.98	440	5.60	56
29週	7/17～7/23	10.79	669	6.80	68
30週	7/24～7/30	13.26	822	11.70	117
31週	7/31～8/6	15.79	979	11.30	113
32週	8/7～8/13	16.95	1,051	10.90	109

8. 当市における今後の方針について

(1) 個人及び事業者の対応

No	項目	今後の方針
1	市民(個人)の感染対策	個人の選択を尊重し、個人の自主的な取組とする。ただし、医療機関等を利用する際は、マスクの着用を推奨する。
2	事業者の感染対策	事業者の判断、自主的な取組とする。(検温器、手指消毒、アクリル板等)
3	対策本部	ワクチン接種もあることから当面の間、継続する。

(2) 市の対応

No	項目	今後の方針
1	警戒レベル	国の基本的対処方針や県の対策レベルが廃止となったことから市の警戒レベルも廃止し、各部署の判断で、必要な対応を行う。
2	各部署(施設)における感染対策	市職員向けの感染予防マニュアルを廃止する。各部署(施設)においては、検温器、手指消毒液及びアクリル板(窓口)の設置を継続する。ただし、内部の会議等においては、アクリル板の設置は不要とする。各部署(施設)におけるその他の感染対策については、国及び県の方針と同様に各部署(施設)において必要と判断した感染対策を講じる。
3	公共施設の利用	市の公共施設の運営については、5月15日以降、施設ごとに必要な感染対策を講じながらの通常営業とする。
4	職員が感染した場合の対応等	発症後5日間は、外出を控えることを推奨することとし、各部署においてテレワークによる勤務を検討する。総務課において、国からの通知を参考に具体的な対応について定め、職員へ周知する。
5	コロナ感染症対応業務継続計画	廃止しない。

9. 市民への周知内容について

(1) 感染対策について

- ・個人(事業者)の自主的な取組となります。
- ・医療機関等を利用する際は、マスクの着用を推奨します。

(2) 医療機関の受診等について

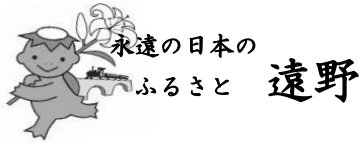
- ・発熱などの症状があり、コロナの感染の疑いがある場合は、かかりつけ医又は外来対応医療機関の受診をお願いします。
- ・感染した場合の療養の目安として発症した翌日から5日間は、外出自粛を推奨します。
- ・受診する医療機関についての相談は、「いわて健康フォローアップセンター」をお願いします。
電話番号:0570-089-005
- ・ワクチンに関する相談は、「新型コロナワクチン専門相談コールセンター」をお願いします。
電話番号:0120-89-5670

(3) 医療費について

- ・5月8日以降、外来(診療・検査・解熱剤等の処方)や入院(診療・検査・薬の処方)など医療費は、加入している健康保険により1割から3割の自己負担が発生します。
 - ※新型コロナウイルス治療薬(ラゲブリオ、パキロビット、ゾコーバ等)については、公費で負担されます。
(令和5年9月末まで)
 - ※入院医療費は、高額療養費の自己負担限度額から2万円減額となります。(令和5年9月末まで)

(4) 市の対応について

- ・対策本部の設置を継続します。
- ・新型コロナウイルスのワクチンの接種、その他新型コロナウイルスに関する問い合わせは、市新型コロナウイルス対策室をお願いします。電話番号:0198-66-3570



令和5年度遠野市一般会計補正予算(第4号)案の概要について

【発表の要旨】

令和5年9月遠野市議会定例会（8月29日開会）に提出する一般会計補正予算案の概要についてお知らせします。

【発表の内容】

令和5年度遠野市一般会計補正予算（第4号）案の概要

1 補正予算額 337,188千円

歳入歳出にそれぞれ 337,188千円を追加し、予算総額を **20,140,308千円**とします。
 （当初予算比較では、6.3%の増）

2 編成の視点

(1) 八幡市営住宅跡地整備分譲に係る事業費の計上	33,000千円
(2) 市内高等学校下宿費等の支援に係る事業費の計上	3,360千円
(3) 新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策に係る事業費の計上	4,923千円
(4) 予算編成後に発生した緊急かつ臨時的な経費の計上 ほか	295,905千円

3 歳入歳出予算の内容

(1) 主な歳入について

14款 国庫支出金の増	21,349千円
デジタル田園都市国家構想交付金 14,451千円 ほか	
17款 寄附金の増	200,000千円
19款 繰越金の増	107,434千円
21款 市債の増	2,500千円

(2) 主な歳出について

7 款	商工費の増	221,711 千円
	ふるさと応援推進事業費 196,937千円	
	まちなか商い振興事業費 21,000千円	
	[新規] 国際ビジネス展開促進事業費 2,704千円 ほか	
8 款	土木費の増	68,676 千円
	[新規] 準用河川調査事業費 9,163千円	
	[新規] 夢タウンとおの八幡整備分譲事業費 33,000千円 ほか	
10 款	教育費の増	36,522 千円
	高校魅力化サポート事業費 3,360千円 ほか	

4 主要事業

別添「令和5年度一般会計補正予算（第4号）主要事業一覧表」

「新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策事業内訳」のとおり

担当	総務企画部財政課（田代） 電話 0198-62-2111（内線 222）
----	---

令和5年度 一般会計補正予算（第4号）主要事業一覧表

【大綱1】自然を愛し共生するまちづくり 【大綱2】健やかに人が輝くまちづくり 【大綱3】活力を創意で築くまちづくり 【大綱4】ふるさとの文化を育むまちづくり 【大綱5】みんなで考え支えあうまちづくり

（単位：千円）

No.	款	項	目	目名	総合計画 大綱	事業名	事業内容	調整額	財源内訳						備考
									国支出金	県支出金	地方債	その他	その他の 内訳	一般財源	
7 款（商工費）															
1	7	1	2	商工振興費	【大綱3】	ふるさと応援推進事業費	ふるさと納税の増に伴う関連経費等の増 1 ふるさと納税返礼品発送等業務委託料 2 プロモーション支援サービス業務委託料 3 産業振興基金積立金 74,000千円 ほか	196,937					196,937	寄附金	0
2	7	1	2	商工振興費	【大綱3】	まちなか商い振興事業費	中心市街地活性化センターコワーキングスペース整備 …工事請負費、備品購入費	21,000	10,500						10,500
3	7	1	2	商工振興費	【大綱3】	【新規】 国際ビジネス展開促進事業費	ネパール国アルジャンダラ市視察経費 1 職員旅費 1,247千円 2 現地視察コーディネート業務委託料 ほか	2,704							2,704
8 款（土木費）															
4	8	3	3	河川改良費	【大綱1】	【新規】 準用河川調査事業費	準用河川赤羽根川流路検討業務委託料	9,163							9,163
5	8	4	3	分譲地整備費	【大綱1】	【新規】 夢タウンとおの八幡整備分譲事業費	分譲地整備業務委託料 …分譲計画確定測量、開発行為申請、地質調査、 下水道設計	33,000							33,000
10 款（教育費）															
6	10	1	2	事務局費	【大綱2】	高校魅力化サポート事業費	1 市内高校下宿費等補助金 1,680千円 …10,000円×6か月×28人 2 市内高校下宿等受入促進補助金 1,680千円 …10,000円×6か月×28人	3,360					3,360	寄附金	0

※新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策事業に係る補正予算については、裏面を参照のこと。

令和5年度 補正予算(第4号) 新型コロナウイルス感染症対策・物価高騰対策事業内訳

※全て地方創生臨時交付金充当

単位：千円

No.	項目		款	項	目	事業名	事業内容	調整額
1	経済対策事業 (物価等高騰対策含む)	衛生関連	4	2	3	し尿汲み取り事業者原油高騰物価対策事業費補助金	原油価格高騰対策として、し尿汲み取り事業者にし尿収集運搬に係る燃料費高騰分を補助する。 【対象】 市内事業者 3社 【補助額】 燃料費(軽油)の対令和元年比増額相当分	1,165
2		農林畜産関連	6	1	3	収入保険加入促進事業費補助金	農産物の価格低下等による収入減を補てんするための「収入保険制度」への加入を促進する。 【対象】 1 青色申告者 2 本年12月末までに加入する農業者 【補助率】 保険料(掛け捨て分)の1/2 【補助上限】 20万円/経営体	3,758
合計								4,923

令和4年度決算による「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等について

1 健全化判断比率等の状況

(単位：%)

区 分	早期健全化基準	財政再生基準	遠野市の比率			
			令和4年度	令和3年度	前年度比	増減要因等
実質赤字比率	13.24	20	— (健全範囲)	— (健全範囲)	—	
連結実質赤字比率	18.24	30	— (健全範囲)	— (健全範囲)	—	
実質公債費比率	25 (18%以上が許可団体)	35	11.1 (健全範囲)	10.8 (健全範囲)	0.3	令和3年度に借入したケーブルテレビFTTH整備事業に係る過疎対策事業債の償還が開始されたことなどにより元利償還金が約1,700万円増加したことに加え、市民税の増加などにより標準税収入額等が約2億2,300万円増加したものの、基準財政需要額における臨時財政対策債償還基金費の廃止や高齢者保健福祉費及び包括算定経費の単位費用の減額などにより普通交付税が前年度よりも約3億1,400万円、臨時財政対策債発行可能額が約3億500万円それぞれ減少したことが要因として挙げられる。
将来負担比率	350		57.2 (健全範囲)	65.9 (健全範囲)	-8.7	平成17年度及び平成18年度に借入した下水道事業債の繰上償還やプライマリーバランスの黒字化を堅持したことにより一般会計における年度末市債残高が前年度と比べ約10億5,700万円減少したことに加え、公債費に充当可能な基金が約3億2,300万円増加したことが要因として挙げられる。
資金不足比率	水道事業会計 10 (起債許可) 20 (経営健全化基準)		— (健全範囲)	— (健全範囲)	—	
	下水道事業会計 10 (起債許可) 20 (経営健全化基準)		— (健全範囲)	— (健全範囲)	—	
計画の策定	[財政健全化計画] 健全化判断比率のうちのいずれかが早期健全化基準以上の場合に定めなければならない。	[財政再生計画] 健全化判断比率のうちのいずれかが財政再生基準以上の場合に定めなければならない。	該当なし	該当なし		
計画策定手続等	議会の議決を経て定め、速やかに公表する。 総務大臣、都道府県知事への報告、全国的な状況の公表等。 毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表する。	議会の議決を経て定め、速やかに公表する。 総務大臣に協議し、その同意を求めることができる。 毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表する。	該当なし	該当なし		

2 健全化判断比率等の対象範囲

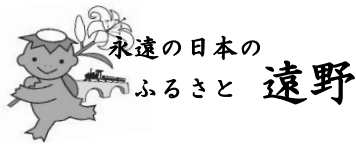
- (1) **実質赤字比率** 一般会計等（普通会計）に生じている赤字の大きさを、当市の財政規模に対する割合で表したものの
- (2) **連結実質赤字比率** 全会計に生じている赤字の大きさを、当市の財政規模に対する割合で表したものの
- (3) **実質公債費比率** 借入金の返済額の大きさを、当市の財政規模に対する割合で表したものの
- (4) **将来負担比率** 借入金残高や債務負担行為に基づく支出予定額など、現在抱えている負債の大きさを、当市の財政規模に対する割合で表したものの
- (5) **資金不足比率** 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものの

健全化判断比率等の対象範囲

健全化法の会計区分	遠野市の会計区分	指標の適用範囲			
○一般会計等	○普通会計 一般会計 ケーブルテレビ事業	↑ 実質赤字比率 ↓	↑ 連結実質赤字比率 ↓	↑ 実質公債費比率 ↓	↑ 将来負担比率 ↓
○公営事業会計	○特別会計 国民健康保険 介護保険 後期高齢者医療				
○公営企業会計	○法適用企業 水道事業 下水道事業 ○法非適用企業 —	↑ 資金不足 ↓			
一部事務組合・広域連合 ※注1					
地方公社・第三セクター ※注2					

注1) 一部事務組合・広域連合は、「岩手県市町村総合事務組合」「岩手中部広域行政組合」「岩手県後期高齢者医療広域連合」が対象

注2) 第三セクターは、市が出資する法人で損失債務補償負担の伴う法人



遠野市記者懇談会資料
令和5年8月23日
総務企画部経営企画課

第2次遠野市総合計画後期基本計画「まちづくり指標」の令和4年度実績及び第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略における KPI の令和4年度実績等について

【発表の要旨】

第2次遠野市総合計画後期基本計画（計画期間：令和3～7年度）の目標値に対する令和4年度の実績を公表します。

併せて、まち・ひと・しごと創生法に基づく遠野スタイル創造・発展総合戦略の令和4年度の重要業績評価指標（KPI）実績を公表します。

【発表の内容】

1 第2次遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標

(1) まちづくり指標とは

令和2年12月に策定した第2次遠野市総合計画後期基本計画（令和3～7年度）において、市民主体の視点に立った行政運営を進めるため、計画の進捗状況を分かりやすく数値で示した118のまちづくり指標を設定している。

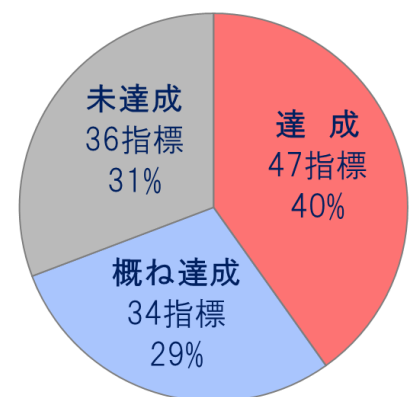
この指標は、年度ごとに目標値を設定しており、その達成状況を公表することとしている。

(2) 令和4年度の達成状況

令和4年度のまちづくり指標数 117指標中

81 指標（69%） が概ね達成

- ・ 達成（達成率 100%以上） 47 指標（40%）
- ・ 概ね達成（達成率 90%以上 100%未満） 34 指標（29%）
- ・ 未達成（達成率 90%未満） 36 指標（31%）



[参考] 令和3年度の実績は、

116指標中81指標（70%）が概ね達成

達成：48指標（41%）、概ね達成：33指標（29%）、未達成：35指標（30%）

2 第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略の重要業績評価指標（KPI）

(1) 重要業績評価指標（KPI）とは

まち・ひと・しごと創生法に基づき、令和2年3月に策定した第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略（令和2～6年度）において、29の重要業績評価指標（KPI）を設定している。

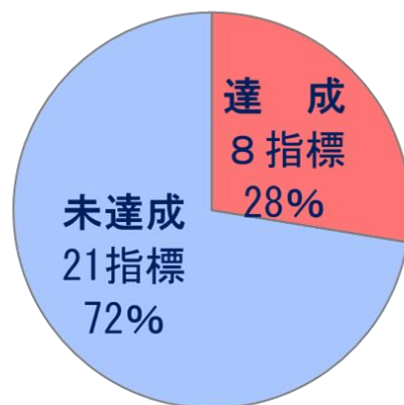
この指標は、年度ごとに目標値を設定しており、この達成状況を公表することとしている。 ※KPI=Key Performance Indicator

(2) 令和4年度の達成状況

KPIの総数29指標中

8指標（28%） が達成

- ・達成（達成率100%以上） 8指標（28%）
- ・未達成（達成率100%未満） 21指標（72%）



[参考] 令和3年度の実績は、
29指標中10指標（34%）が達成

担当	総務企画部経営企画課（伊藤） 電話 0198-62-2111（内線 217）
----	---

実績報告書

第2次遠野市総合計画 後期基本計画

(R3～R7)

まちづくり指標

令和4年度 実績概要

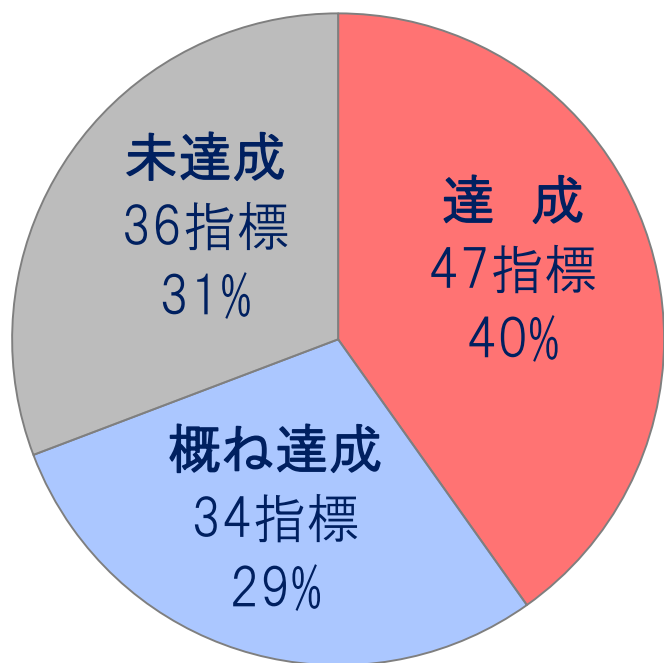
遠野市





第2次市総合計画後期基本計画(令和3年度～令和7年度)におけるまちづくり指標は、達成目標を年度ごとに設定しています。まちづくり指標は、毎年度、達成状況の実績を市民に公開しています。

指標別割合



令和4年度まちづくり指標数は**117**指標
令和4年度実績は

81指標(**69%**)が**概ね達成**

(令和3年度の実績は、116指標中81指標(70%)が概ね達成)

達成(達成率 100%以上)

47指標(**40%**)

概ね達成(達成率 90%以上100%未満)

34指標(**29%**)

未達成(達成率 90%未満)

36指標(**31%**)

大綱別の達成状況では、「概ね達成以上」の割合で唯一悪化したのが、大綱3で前年度より5ポイント悪化の56%となりました。

これは、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による農業生産額(耕種)の減少やウッドショックの影響による森林整備面積の減少が要因に挙げられます。

このような中で、3年ぶりに日本のふるさと遠野まつりが開催され、指標No. 73の「中心市街地の観光施設等入込数」では、前年比約23,000人の増、また指標No. 76の「宿泊客数」では、前年度比11,000人の増となり、低迷していた市内観光産業にも回復の兆しが見えはじめてきた。

	指標数	概ね達成以上	達成状況		未達成
			達成	概ね達成	
大綱1	20	15 (75%)	10 (50%)	5 (25%)	5 (25%)
大綱2	25	17 (68%)	7 (28%)	10 (40%)	8 (32%)
大綱3	36	20 (56%)	10 (28%)	10 (28%)	16 (44%)
大綱4	25	19 (76%)	14 (56%)	5 (20%)	6 (24%)
大綱5	11	10 (91%)	6 (55%)	4 (36%)	1 (9%)
計	117	81 (69%)	47 (40%)	34 (29%)	36 (31%)



国内における新規陽性者の推移は、令和4年8月19日と令和5年1月6日をピークに、第7派、第8波と繰り返し、感染拡大の波が押し寄せ、市内においても令和3年度に引き続き、様々な行事やイベント、事業などが中止や縮小となり、「未達成」となった多くのまちづくり指標がその影響を受けました。

イベント等の中止・縮小による影響を受けた指標

- No. 11 自主防災組織活動支援数
- No. 13 応急手当講習会参加者数
- No. 27 特定保健指導実施率
- No. 30 がん検診精密検査受診率**
- No. 32 スポーツ合宿誘致件数
- No. 37 生きがい活動支援通所事業利用回数
- No. 39 家族介護教室参加者数
- No. 59 ホースパーク利用者数
- No. 81 中学生の海外派遣数
- No. 86 市民センター施設利用者数(スポーツ施設除く)
- No. 91 自主事業の顧客満足度**
- No. 92 市民協働の芸術文化事業の参加者数
- No. 93 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数
- No. 98 市民一人あたりの平均貸出冊数
- No. 110 みんなで築くふるさと遠野推進事業参画者数

経済の低迷の影響を受けた指標

- No. 56 和牛子牛市場出荷頭数
- No. 57 いわて遠野牛出荷頭数**
- No. 60 農業生産額(耕種)
- No. 61 農業生産額(畜産)**
- No. 62 農業生産額(特用林産)
- No. 74 中心市街地通行者数
- No. 75 道の駅利用者を含む観光客入込数
- No. 76 宿泊客数
- No. 94 博物館入館者数

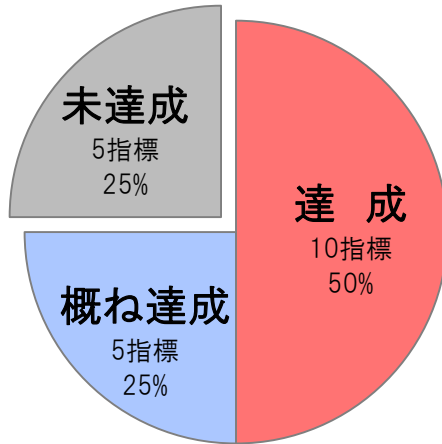
※**太字**は令和4年度に未達成となった指標。それ以外は令和3年度に引き続き未達成となった指標

20指標は2年連続、4指標は令和4年度に入って影響が顕著に現れたと推測される
(令和3年度は25指標に影響が及んだ)



大綱1 自然を愛し共生するまちづくり 20指標

青字=R3より改善
赤字=R3より悪化



達成
10指標

- 特定空き家等の解体件数
- 市道改良率
- 市道舗装率
- 市道の改良舗装工事実施路線数
- 防災関係講習会等の参加者数
- 応急手当普及員登録人数
- 国土調査進捗率
- 市内における刑法犯罪発生件数
- 交通事故発生件数
- 遠野テレビインターネット加入率

概ね達成
5指標

- 市民一人1日当たりのごみ排出量
- 小中学校等の環境学習及び環境活動の実施
- 水酸化率
- 消防団員数
- ケーブルテレビ加入率

未達成
5指標

- 市民環境団体登録数
- 公営住宅整備戸数
- 水道管路の更新延長の累計
- 自主防災組織活動支援数
- 応急手当講習会参加者数

未達成指標の状況

【達成率が80%以上90%未満の指標】

- ◆ No. 4 公営住宅整備戸数 80.0%
→ 整備予定団地の変更に伴い、整備戸数が減少したため。
- ◆ No. 6 水道管路の更新延長の累計（5年間） 84.9%
→ 資材費の高騰等により施工延長を縮小したため。

【達成率が70%以上80%未満の指標】

- No. 2 市民環境団体登録数 71.2%
→ 少子化や行政区見直しによる地区子供会の減少のため。

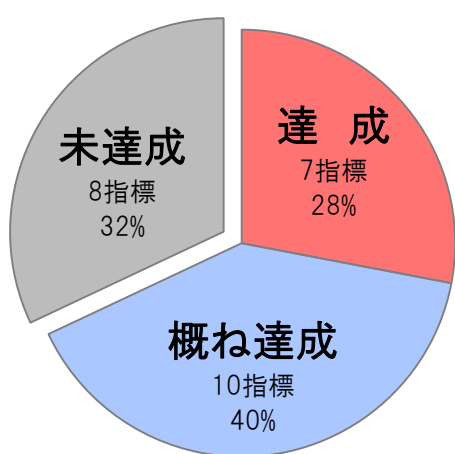
【達成率70%未満の指標】

- ▼ No. 11 自主防災組織活動支援数 65.2%
→ 新型コロナウイルスの影響で、自主防災組織活動数が減少したため。
- ▼ No. 13 応急手当講習会参加者数 61.8%
→ 新型コロナウイルスの影響で、講習会の受入れ中止等があったため。



大綱2 健やかに人が輝くまちづくり 25指標

青字=R3より改善
赤字=R3より悪化



達成
7指標

- 乳幼児健康診断受診率 ○3歳児のむし歯有病率
- 認知症サポーター養成講座受講者数 ○福祉施設から地域生活への移行者数
- 福祉施設から一般就労への移行者数 ○わらすっこ条例応援認定事業者数
- 児童館・児童クラブ利用登録率(小学生)

概ね達成
10指標

- 麻しん風しん混合予防接種の接種率 ○朝食をとる習慣のある子どもの割合
- 特定健康診査受診率 ○特定保健指導改善率 ○がん検診受診率
- スポーツ施設利用者数 ○市内文化・体育振興団体からの受賞件数
- シルバー人材センター会員就業率 ○合計特殊出生率
- 妊娠・出産について満足している者の割合

未達成
8指標

- ICT健康づくり事業参加者数 ○特定保健指導実施率
- がん検診精密検査受診率 ○スポーツ合宿誘致件数 ○老人クラブ加入者数(累計)
- 「住民主体の通いの場」の実施グループ数 ○生きがい活動支援通所事業利用回数
- 家族介護教室参加者数

未達成指標の状況

【達成率が80%以上90%未満の指標】

- ◆ No. 30 がん検診精密検査受診率 89.9%
→ 新型コロナウイルスの影響により医療機関が受診控え等したため。
- ◆ No. 34 老人クラブ加入者数(累計) 84.9%
→ 行政区再編による単位クラブの減少等のため。
- ◆ No. 36 「住民主体の通いの場」の実施グループ数 88.0%
→ 新規団体の立ち上げに時間を要し年度内の設置に至らなかったため。

【達成率が70%以上80%未満の指標】

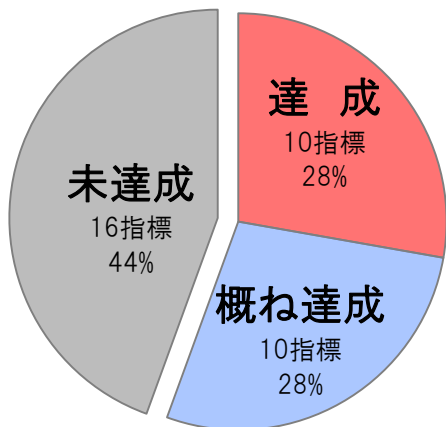
- No. 25 ICT健康づくり事業参加者数 78.3%
- No. 37 生きがい活動支援通所事業利用回数 76.2%
→ 新型コロナウイルスの影響による利用休止等のため。
- No. 39 家族介護教室参加者数 76.3%
→ 新型コロナウイルスの影響による事業縮小のため。

【達成率70%未満の指標】

- ▼ No. 27 特定保健指導実施率 49.8%
→ 新型コロナウイルスの影響により再勧奨を控えたため。
- ▼ No. 32 スポーツ合宿誘致件数 20.0%
→ 新型コロナウイルスの影響による合宿見送りのため。



大綱3 活力を創意で築くまちづくり 36指標



達成
10指標

概ね達成
10指標

未達成
16指標

○家族経営協定数(累計)
○多面的機能支払事業取組農地の割合 ○繁殖素牛頭数
○馬生産頭数 ○製造品出荷額 ○法人資産総額 ○移住者世帯数
○で・くらす遠野ホームページ訪問者数 ○交流事業参加者数 ほか

○水田の作付割合 ○担い手への水田の集積率 ○認定農業者数
○野生鳥獣による農作物被害額 ○6次産業化関連効果額
○特用林産物生産量(原木しいたけ) ○市内給与所得者数 ○市内法人数
○中心市街地の観光施設等入込数 ○で・くらす遠野市民制度年間会員数

○集落営農数 ○次世代人材投資資金受給者数 ○和牛子牛市場出荷頭数
○いわて遠野牛出荷頭数 ○ホースパーク利用者数 ○農業生産額(耕種)
○農業生産額(畜産) ○森林整備面積(年間整備面積) ○民有林再造林面積
○木工団地事業体の売上高 ○道の駅利用者を含む観光客入込数 ○宿泊客数 ほか

青字=R3より改善
赤字=R3より悪化

未達成指標の状況

【達成率が80%以上90%未満の指標】

- ◆ No. 48 集落営農数 86.4%
- ◆ No. 57 いわて遠野牛出荷頭数 87.4%
- ◆ No. 61 農業生産額(畜産) 87.7%
- ◆ No. 64 森林整備面積(年間整備面積) 83.8%
- ◆ No. 66 木工団地事業体の売上高 83.9%
- ◆ No. 67 松くい虫被害木駆除材積量 84.9%
- ◆ No. 76 宿泊客数 84.1%

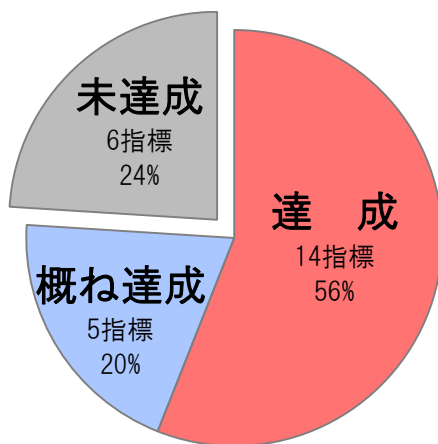
【達成率が70%以上80%未満の指標】

- No. 56 和牛子牛市場出荷頭数 78.4%
- No. 60 農業生産額(耕種) 73.9%
- No. 74 中心市街地通行者数 76.7%
- NO. 75 道の駅利用者を含む観光客入込数 75.3%

【達成率70%未満の指標】

- ▼ No. 50 次世代人材投資資金受給者数 42.9%
- ▼ No. 59 ホースパーク利用者数 22.4%
→ 新型コロナウイルスの影響による馬との交流事業中止のため。
- ▼ No. 62 農業生産額(特用林産) 57.9%
→ 生産農家の減少による生産量の落ち込みと価格低迷等のため。
- ▼ No. 65 民有林再造林面積 66.5%
→ 県有林等での伐採後の再造林が行われなかったため。
- ▼ No. 81 中学生の海外派遣数 0%
→ 新型コロナウイルスの影響による派遣事業の中止。

■ 大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 25指標


 達成
14指標

 概ね達成
5指標

 未達成
6指標

- 全講座における継続的講座数
 ○市民センター等の生涯学習講座の延べ受講者数
 ○家庭教育講座等の延べ参加者数 ○青年団体加入者数(累計)
 ○博物館講座等の受講者数 ○博物館特別展の見学者の満足度(11段階評価)
 ○文化財説明板設置件数(累計) ○遠野遺産認定件数(累計)
 ○文化財に関するHPへのアクセス数 ○こども本の森遠野入館者数 ほか
- 小学校標準学力検査偏差値 ○中学校標準学力検査偏差値
 ○学校給食に使用する遠野産食材の割合
 ○市民センター施設の利用件数(スポーツ施設除く)
 ○図書館の利用者登録率
- 市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く)
 ○自主事業の顧客満足度 ○市民協働の芸術文化事業の参加者数
 ○市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 ○博物館入館者数
 ○市民一人あたりの平均貸出冊数

 青字=R3より改善
 赤字=R3より悪化

未達成指標の状況

【達成率が80%以上90%未満の指標】

- ◆ No. 86 市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く) 87.1%
- ◆ No. 98 市民一人あたりの平均貸出冊数 82.8%

【達成率が70%以上80%未満の指標】

- No. 94 博物館入館者数 78.6%

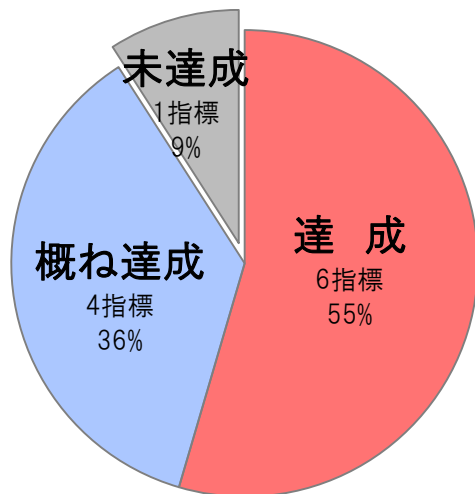
【達成率70%未満の指標】

- ▼ No. 91 自主事業の顧客満足度 0%
- ▼ No. 92 市民協働の芸術文化事業の参加者数 56.3%
- ▼ No. 93 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 53.8%





大綱5 みんなで考え支えあうまちづくり 11指標



達成
6指標

- 各委員、協議会の女性参画率
- 経営改革大綱実行計画の達成率
- 市税等の収納率(現年分)
- 実質公債費比率(普通会計)
- 市民一人当たりの借入金残高
- 市職員数

概ね達成
4指標

- 市内河川清掃参加者割合
- みんなで築くふるさと遠野推進事業実施数
- 市長と語ろう会(みんなの井戸端会議)参加者数
- 経常収支比率(普通会計)

未達成
1指標

- みんなで築くふるさと遠野推進事業参画者数

青字=R3より改善
赤字=R3より悪化

未達成指標の状況

【達成率が80%以上90%未満の指標】

- No. 110 みんなで築くふるさと遠野推進事業参画者数 89.6%
→ 新型コロナウイルスの影響による事業の中止・縮小等のため。



- 8月10日 市総合計画審議会審議
- 8月22日 議員全員協議会報告
- 8月23日 定例記者懇談会発表
- 9月 ホームページ掲載
公共施設での閲覧公開
- 10月5日 広報遠野10月号掲載
(決算概要と合わせて掲載)

第 2 次遠野市総合計画後期基本計画（R3～R7年） 令和 4 年度まちづくり指標実績

資料No.3-2

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
1 自然を愛し共生するまちづくり (20指標)	1	市民一人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	876	目標値	859	850	841	833	825	概ね達成	96.2	環境学習会の実施や、広報・遠野テレビを活用したごみの減量及び適正分別の啓発を行った。また、ごみ減量物品購入に係る費用の一部助成を実施し、家庭から出る生ごみの自家処理を推進した。市民一人1日当たりのごみ排出量は、資源集団回収団体等による資源物の回収量の増や、可燃ごみ数種の有料化に伴う駆け込みでの排出量の増により計画値を34g上回った。しかしながら、可燃ごみの量は、市全体で昨年と比べ73t減少しており、市民のごみの減量及び適正分別への意識が浸透してきていると認識している。引き続き、ごみの減量化に向けた取組を推進していく。	環境課
					実績	869	884							
	2	市民環境団体登録数	団体	73	目標値	73	73	73	73	73	未達成	71.2	資源集団回収団体34団体、環境保全活動団体4団体、こどもエコクラブ14団体の52団体の登録となり未達成であった。資源集団回収団体として一部の地区子供会が活動しているが、地区子供会の登録は年々減少している。少子化や行政区の見直しに伴う地区子供会の統合により、今後さらに減少していくことが予想される。環境保全団体数は維持しており、こどもエコクラブ数は若干減少している。団体数は減少したものの、活動内容は例年どおりの活動を行っている。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことから、今後は各団体の活動を活性化させるとともに、環境保全団体数の増に向けた普及啓発に取り組んでいく。	環境課
					実績	56	52							
	3	小中学校等の環境学習及び環境活動の実施	回	97	目標値	97	97	97	97	97	概ね達成	90.7	こどもエコクラブ登録団体による活動71回、水生生物調査による環境学習会は小学校を含め13回、ごみ処理施設見学4回で活動実績は88回で概ね達成となった。水生生物調査による環境学習会は、雨天による河川の増水や新型コロナウイルス感染症の流行に伴う県の緊急事態宣言の影響により3回中止となっている。目標実施回数は達成できなかったものの、小中学校のほか、1保育園でも活動が行われており、園児をはじめ児童生徒の環境を意識した活動が広がっている。	環境課
					実績	95	88							
	4	公営住宅整備戸数	戸	-	目標値	-	15	9	11	-	未達成	80.0	平成30年度に計画を見直した「遠野市営住宅等長寿命化計画」に基づき、靱町市営住宅の整備を進めた。令和4年度は、令和3年度からの繰越事業と合わせて、靱町市営住宅の新築工事3棟12戸を実施した。宮守銀河市営住宅は、県が公表した新たな土砂災害の恐れのある区域に該当したことから整備を中断し、詳細調査の結果の確認と先行して靱町市営住宅を整備するとしたことから令和7年度に整備時期を繰り下げた。なお、宮守銀河市営住宅の整備を中断せざるを得ず、目標の整備戸数の達成は厳しいが、今後も計画的に市営住宅の更新を進めていく。	建設課
					実績	-	12							
	5	特定空家等の解体件数	件	0	目標値	3	3	3	3	3	達成	100.0	安全・衛生・景観上等の問題がある特定空家等について、補助を活用した解体が3件行われ、目標を達成できた。今後も補助制度を活用し、管理不全空き家の解消に努めていく。	まちづくり推進課
					実績	4	3							
6	水道管路の更新延長の累計（5年間）	m	25,755	目標値	6,540	12,218	19,142	26,146	33,700	未達成	84.9	令和4年度末時点の水道管路の更新延長は、累計で10,376mとなり、目標を達成できなかった。その理由として、遠野東工業団地への水道水の供給を優先するため、青笹第1ポンプ場の機械等設備工事を前倒して実施したこと、また、資材費の高騰等により施工延長を当初の予定から縮小さざるを得なかったことが挙げられる。今後も、関係機関等と調整を図りながら、目標達成に向けて水道管路の更新を進めていく。	上下水道課	
				実績	5,220	10,376								
7	水洗化率	%	66.0	目標値	67.8	68.7	69.5	70.5	71.4	概ね達成	99.4	令和4年度における下水道排水設備計画の確認申請件数は78件（個人56件、事業所等22件）、浄化槽設置整備事業費補助金を活用した個人住宅への合併処理浄化槽の設置基数は36基であった。令和4年度末の住民基本台帳による総人口24,906人に対し、水洗化設備を使用している人口（水洗化人口）は17,011人で、水洗化率は68.3%となり、目標を概ね達成した。水洗化に関する啓発活動として、公共下水道未接続世帯及び事業所への文書による接続勧奨を実施した結果、通知対象区域内の11世帯と2事業所が公共下水道に接続した。また、浄化槽未設置世帯に対しても、文書により水洗化の必要性や補助制度の周知に努めた。各汚水処理施設による水洗化率は、公共下水道が90.1%、農業集落排水施設が97.2%である一方、浄化槽は48.3%にとどまっていることから、今後も浄化槽設置整備事業費補助金の活用を重点的に推進し、水洗化率の向上を図るとともに、水洗化の重要性に関する啓発活動を継続し、市民の生活環境の改善と公衆衛生意識の向上に努めていく。また、下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の収益確保をはじめ、事業運営に係る課題の改善と経営の安定化に向けた取組を推進していく。	上下水道課	
				実績	67.8	68.3								
8	市道改良率	%	48.5	目標値	48.5	48.5	48.6	48.6	48.6	達成	100.2	市道須崎線ほか1路線483mを改良したことにより、全延長1,300kmのうち改良済延長は631.7kmとなり、目標を達成することができた。今後も「生活に身近な道づくり事業第6期計画（令和4～8年度）」に基づき、市道改良工事を促進していく。	建設課	
				実績	48.6	48.6								
9	市道舗装率	%	44.9	目標値	44.9	45.0	45.0	45.0	45.1	達成	100.0	市道須崎線ほか1路線483mを舗装したことにより、全延長1,300kmのうち舗装済延長は585.0kmとなり、目標を達成することができた。今後も「生活に身近な道づくり事業第6期計画（令和4～8年度）」に基づき、市道改良舗装工事を促進していく。	建設課	
				実績	45.0	45.0								
10	市道の改良舗装工事実施路線数	路線	4	目標値	4	4	5	4	4	達成	125.0	市道須崎線ほか4路線を施工し（うち1路線は業務委託のみ）、目標を達成することができた。毎年、目標路線数を施工できるよう取り組む。	建設課	
				実績	4	5								

様式 1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
						目標値	実績	目標値	実績	目標値				
11	自主防災組織活動支援数	団体	11	目標値	23	23	23	23	23	未達成	65.2	新型コロナウイルス感染症の影響で目標値を下回ったが、各地区別（11地区）で開催した防災研修会等において避難情報、自主防災組織初動マニュアル、避難行動要支援者に係る説明と意見交換を行い、地域の防災組織運営の充実強化を図った。 今後も災害に備えての防災研修、防災訓練を開催するなど、自主防災組織の活動を支えられるよう継続的な支援に努める。	消防総務課	
				実績	10	15								
12	防災関係講習会等の参加者数	人	191	目標値	230	240	250	260	270	達成	170.0	自主防災組織の各地区別（11地区）防災研修会、市内の小・中学校で3回の防災学習を実施したほか、ばすぼる食育まつりにおいて、参加者への防災広報を行った結果、前年度より105人多い408人の参加となり、目標を達成することができた。 今後も地域児童、生徒及び自主防災組織、地域住民に対する防災指導を推進していく。	消防総務課	
				実績	303	408								
13	応急手当講習会参加者数	人	1,629	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	未達成	61.8	令和4年度も令和3年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で、講習会の受入れ中止及び感染拡大防止による自粛等により目標値を下回ったが、福祉施設や保育施設、市内小中学校のPTAを中心に講習会を開催し、救命率の向上を図った。 今後も、救命率の更なる向上を図るため、応急手当講習会を積極的に進める。	遠野消防署	
				実績	979	988								
14	応急手当普及員登録人数	人	40	目標値	42	44	46	48	50	達成	125.0	令和4年度は新規講習会を1回開催し新たに5名の普及員を養成したほか、再講習を1回開催し18名が普及員の継続となった。今後も計画的に新規普及員の養成、再講習の受講者増に向けた対策、方策を検討していく。 また、令和4年度は応急手当普及員が救命講習の講師として32回の普及活動を行った。今後も継続して応急手当普及員の養成を図り、救命率の向上に努める。	遠野消防署	
				実績	53	55								
15	消防団員数	人	857	目標値	850	850	850	850	850	概ね達成	93.3	市の人口減少、高齢化、消防団の行事、家族への負担などから退団者(29人)が新入団員(11人)上回り、消防団員数の減少が続いている。 退団者の減少をくい止め、新入団員の増加を目標とする観点から、令和4年度から出勤報酬を改定し、さらに令和5年度から年額報酬を改定している。 令和4年度における消防団員の処遇改善や行事の在り方などを検討する委員会での協議結果を踏まえ、各種媒体を活用した広報活動に力を入れながら、退団者数の抑制と新入団員の確保に努める。	遠野消防署	
				実績	811	793								
16	国土調査進捗率	%	87.0	目標値	88.0	88.0	88.0	89.0	90.0	達成	100.2	土淵町の一部2.03km ² を対象に現地調査を実施し、所有する土地一筆ごとに隣接者との立会により境界を決定し、測量を行い、目標を達成することができた。 今後も、境界が不明確になりつつある山間部を優先した調査の推進に努める。	建設課	
				実績	87.9	88.2								
17	市内における刑法犯罪発生件数	件	43	目標値	43	42	41	40	39	達成	116.7	警察署等、関係機関と連携し、防犯パトロールや特殊詐欺被害防止の街頭啓発活動、鍵かけモデル地区の指定など、鍵かけ運動の推進を図ったことで無施錠による盗難事件が減少し、目標を達成することができた。 今後も、無施錠による盗難事件やインターネット関連の詐欺等の発生を抑えるため、各町（地区）防犯協会をはじめとした防犯団体や警察署等の関係機関と連携しながら、季節運動期間に合わせた街頭啓発活動を実施するほか、消費生活相談員と連携した消費トラブルに巻き込まれないための出前講座なども継続して実施し、犯罪の未然防止と市民の安全意識の醸成等に努めていく。	市民協働課	
				実績	58	36								
18	交通事故発生件数	件	23	目標値	23	23	23	22	22	達成	121.1	交通事故による死者は、令和3年6月から0人を継続している。交通事故発生件数は減少（対前年-2件）したが、負傷者数は微増（対前年+3件）傾向にある。 このことから、引き続き警察署をはじめ、交通安全対策協議会や交通安全協会等の関係団体と連携しながら、季節運動や横断歩道の日に合わせ、歩行者及び運転者へのハンド・コミュニケーションを推進し、交通安全意識の啓発と交通事故防止活動の強化を図り、負傷者数の減少を図っていく。 また、幼稚園や保育園の園児向けや、高齢者向けの交通安全教室、小中学生への自転車の交通安全教室を実施するほか、ケーブルテレビで交通安全番組を放送し、交通事故防止に努める。	市民協働課	
				実績	21	19								
19	ケーブルテレビ加入率	%	85.5	目標値	85.5	85.6	85.6	85.7	85.7	概ね達成	97.2	遠野テレビ放送番組審議会をはじめ、加入者の声や地域ニーズを広く収集し、視聴者にとって魅力ある番組づくりに努めるとともに、転入世帯や既設の引込線のある世帯等においては、加入金の減免措置を継続することにより、新規加入がしやすい環境づくりに取り組んだ。 また、定期的な新聞折込や市民課窓口での転入者に対するチラシ配付により、遠野テレビの加入促進にも努めた。 しかし、高齢世帯の増加に伴い、不在等を理由とした解約も増加傾向にあるため、新規加入が76件あったものの、解約件数は108件となり、全体加入率では目標値を2.4ポイント下回った。 令和5年度からは、指定管理者制度に移行したことから、指定管理者による管理の下、きめ細かなサポートを充実させることにより、加入者確保に努める。	情報推進課	
				実績	84.6	83.2								
20	遠野テレビインターネット加入率	%	35.1	目標値	35.6	36.6	37.8	39.0	40.0	達成	109.8	遠野市ケーブルテレビFTH化整備工事に合わせて、新たにインターネットメニューに高速コースを追加したほか、上り・下りの通信速度を統一することにより、居住地域に関わらず、高速・大容量の通信環境が得られる環境を整えた。 また、小友町と宮守町内の遠野テレビ加入者の内、インターネット未加入世帯に対して、災害時の情報手段の確保のため、Wi-Fi端末を設置することにより、市内全加入者宅にWi-Fi端末を整備した。 加入促進については、未加入世帯に対するダイレクトメールの発送や個別勧誘の取組を強化した結果、前年度を上回る321件の新規加入実績となり、目標値を3.6ポイント上回るすることができた。 令和5年度からは、指定管理者制度に移行したことから、指定管理者による管理の下、きめ細かなサポートを充実させることにより、加入者確保に努める。	情報推進課	
				実績	38.3	40.2								

様式 1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
2 健やかに人が輝く まちづくり (25指標)	21	乳幼児健康診査の受診率	%	100.0	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	達成	100.0	集団で実施している乳幼児健康診査（3～5か月・6～8か月・1歳6か月・3歳6か月）は、すべての対象児が受診し、目標を達成できた。長期にわたり市外に里帰りするケースについては、里帰り先の市町村に健診の実施を依頼し、里帰り先で受診できるよう配慮することにより、受診につながっている。また、対象月に受診できないケースには、健診の必要性を丁寧に説明するとともに、受診につながるまで勧奨を行った。 乳幼児健診は、疾病や異常の早期発見のために不可欠であるとともに、保護者の育児不安や育児上の困難感を把握する重要な機会であることから、すべての子育て世代が安心して子育てできるよう、今後も切れ目のないきめ細やかな支援を継続していく。	保健医療課
					実績	100.0	100.0							
	22	3歳児むし歯有病率	%	24.5	目標値	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	達成	103.6	3歳児のむし歯有病率は、目標値を達成することができたものの、前年度よりも4.1ポイント増加する結果となった。 今後は、妊娠期及び生後6か月から半年ごとに実施している歯科衛生士による指導を継続実施するとともに、個人や月齢に合わせた歯科保健指導の更なる充実を図る。特に離乳食から幼児食への移行時期である1歳児の歯科保健指導は、保護者の仕上げみがきなどの手技獲得やむし歯予防の意識の向上に重要であることから、より一層指導を強化し、最終年度の目標値を見据え、むし歯有病率の低下を目指す。	保健医療課
					実績	15.2	19.3							
	23	麻疹風しん混合予防接種の接種率	%	98.8	目標値	97.0	97.5	98.0	98.0	98.5	概ね達成	93.7	麻疹及び風しんは、特に幼児期に予防が必要とされる特定感染症であり、予防接種によって発病及びまん延を防止できるといわれている。接種率向上のため、対象者と未接種者への勧奨を実施したが、新型コロナウイルス感染症のまん延による受診控えなどの要因により、目標値を下回る結果となった。 今後は、未接種者への丁寧な接種勧奨に努め、予防接種の重要性を周知・指導しながら目標値の達成を目指す。	保健医療課
					実績	98.5	91.4							
	24	朝食をとる習慣のある子どもの割合	%	92.2	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	概ね達成	95.4	遠野市内の児童・生徒の健康課題のひとつである「肥満」は、将来の生活習慣病に結びつくことから、肥満改善に向け各年代に合わせた食育講座を開催した。児童・生徒に対しては、朝ごはんを用意する技術の基礎となる「料理を作る力」を育むことを目的として調理実習を含めた教室を開催し、実施の大切さや料理への興味を引き出すきっかけをつくった。また、母子保健担当や子育て支援担当と連携し、各事業内で朝ごはんの必要性等を伝え、子育て期の保護者の理解を深めた。 肥満の一因となる「朝ごはん抜き」の食生活を見直し、併せて生活習慣の適正化や料理を作る力を身につけるべく、引き続き、学校や地域の関係機関等と連携し、子どもの健康づくりを目指す。	総合食育課
					実績	93.1	90.6							
25	ICT健康づくり事業参加者数	人	1,279	目標値	1,800	1,900	2,000	2,100	2,100	未達成	78.3	目標値には及ばなかったものの、新規参加者は170人、継続率は88.8%と高い水準であった。また、新たな施策として、参加希望者向けの事業説明会や既に事業へ参加している者の口コミ等を活かしたお友達紹介・同時入会キャンペーンを新たに実施し、新規参加者の獲得に繋げた。このことから、国民の7割を占めるとされる健康無関心層が健康ポイントによるインセンティブ（動機付け）をきっかけに、無関心から健康維持へと行動変容できている。 地域での計測会や運動教室、市内11の事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健康アンバサダー養成、地元商店街や観光施設と協働したウォーキングイベント等の実施により、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄与している。 今後も市民の健康づくりを応援するとともに、ポイントの経済活動利用により地域の活性化に努めていく。	健康長寿課	
				実績	1,477	1,487								
26	特定健康診査受診率	%	50.2	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	概ね達成	92.0	受診率（健診年度は令和3年度、令和4年10月末に確定）は前年度から5.2ポイント増、制度が開始された平成20年度以降一番高い受診率となった。理由としては、令和3年度から3か年計画で実施している「特定健診未受診者対策事業」（ナッジ理論等に基づきA1）を用いて未受診者集団を傾向別に分類し、行動変容を目的に集団ごとに効果的な受診勧奨を行う手法）による成果と考える。 なお、受診者拡大のために、①休日・夜間・冬期追加健診の実施、②各種媒体を活用した周知活動、③職場健診や人間ドックなど市の健診以外で受診した被保険者の健診結果の収集、④健診案内、勧奨通知の工夫、⑤法定検査項目以外に独自で検査項目を追加（貧血、クレアチニン、尿酸、推算糸球体過剰量、推定塩分摂取量、眼底・心電図検査など）⑥人間ドック受診者への助成、などを継続して実施した。	健康長寿課	
				実績	50.0	55.2								
27	特定保健指導実施率	%	29.4	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	未達成	49.8	国の目標実施率（市町村国保実施率）を基に設定した目標値は達成できなかった。理由としては、特定健診未受診者対策事業により受診者数が大幅に増加し、これに合わせて特定保健指導対象者数が増加したものの、冬季に新型コロナの第6波による感染拡大があり、通知後の電話による再勧奨を控えざるを得なかったことがあげられる。また、面接を予定していても自身や家族の感染、外出控えなどによるキャンセルも多く、予定どおり面接ができなかったことなどが挙げられる。ただし、最終面接を電話に代えての対応や、最終評価を次年度の特定健診会場で実施するなど、中途脱落者を出さないようコロナ禍での特定保健指導方法について工夫して取り組んだ。 今後も引き続き、電話等での利用勧奨や対象者への継続支援に取り組み、特定保健指導実施率の向上に努めていく。	健康長寿課	
				実績	34.7	29.9								
28	特定保健指導改善率	%	16.9	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	概ね達成	94.8	特定保健指導による改善率は、前年度から1.5ポイント増加し、概ね達成となった。 特定保健指導の対象者には、生活習慣に問題を抱える方が多く、加えて生活習慣を改善するためのアプローチに対し行動変容しにくいという傾向があるが、限られたマンパワーや時間の中でより効率的にアプローチしていく方法を検討し、また、研修等に積極的に参加して対応職員のスモールアップに務めたことにより改善率が向上したと認識しており、引き続き、特定保健指導改善率の向上に努めていく。	健康長寿課	
				実績	22.2	23.7								

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況		
29	がん検診受診率	%	30.1	目標値	30.2	30.3	30.4	30.5	30.6	概ね達成	90.1	コロナ禍の中、感染対策を徹底し、休日・夜間・冬期追加検診を実施したほか、遠野すずらん振興協同組合と連携して、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン事業に取り組むなど、受診率向上に向けた対策を講じた。 子宮頸がん検診は、検診機関の医師不足により土・日開催ができず、5つのがん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん）のうち受診率が19.8%と最も低かった。 今後も、がん検診受診率向上に向けた各種取組を継続実施しながら、年齢などターゲットを絞った受診勧奨を行うなど効果的な検診の運営について努めていく。	健康長寿課
				実績	27.6	27.3							
30	がん検診精密検査受診率	%	88.9	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	未達成	89.9	精密検査受診率について、前年度から7.3ポイントも減少した要因としては、受診確認（受診勧奨）のための電話が繋がらない、確認が取れても新型コロナウイルス感染症の流行による医療機関の受診控えや、感染拡大による医療機関側の予約制限の実施、さらには、ワクチン接種後に体調を見てからの精密検査を希望する方が多かったことなどが挙げられる。 また、高齢者においては、身体的負担が大きい検査（胃がん・大腸がん検診のように内視鏡カメラによる検査）に未受診者が多い傾向が見られることから、一次検診時から精密検査の重要性について理解を求めるとともに、精密検査の受診が難しい場合は、かかりつけ医での相談を促す等の対応を進め、今後も精密検査受診率向上を図っていく。	健康長寿課
				実績	88.2	80.9							
31	スポーツ施設利用者数	人	199,168	目標値	200,000	200,200	200,400	200,600	200,800	概ね達成	98.1	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和4年度の前半は活動制限や公共施設の利用制限などもあり利用者数は伸び悩んだが、後半には感染症の感染拡大も落ち着き、利用者も前年度比で126%と活動が活発になったことから、目標を概ね達成することができた。 今後も目標達成に向けて、市民やスポーツ少年団などの各種団体に対して、日頃からの体力づくりやイベント等に活用していただくよう、感染対策を徹底しながら施設の利活用を推進する。	生涯学習スポーツ課
				実績	155,234	196,351							
32	スポーツ合宿誘致件数	件	3	目標値	5	5	6	6	6	未達成	20.0	当初3件の合宿申込があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1件の合宿実施であった。今後も目標達成に向けて、市ホームページや岩手県スポーツコミッション合宿相談会等を通じてスポーツ施設をPRするとともに、本市の文化などの魅力発信に努めていく。	生涯学習スポーツ課
				実績	1	1							
33	市内文化・体育振興団体からの受賞件数	件	52	目標値	52	54	56	58	60	概ね達成	92.6	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、野球、陸上競技、サッカー、卓球、空手、一輪車で多くの子どもたちが活躍し、目標を概ね達成することができた。今後も目標達成に向けて、ジュニアスポーツレベルアップ事業を推進するとともに、競技別各種大会や県民体育大会に出場する各競技団体へ継続して支援していく。	生涯学習スポーツ課
				実績	47	50							
34	老人クラブ加入者数 (累計)	人	2,350	目標値	2,210	2,210	2,210	2,210	2,210	未達成	84.9	参加申込者が少ない事によって中止になったイベントが1件あったが、コロナ禍でも感染症対策を行いながら各種スポーツ活動を実施し、老人クラブ活動の活性化と会員相互の親睦を図ることができた。しかしながら、行政区再編による単位クラブの減少で、目標値を達成することができなかった。 今後も、高齢者の生きがいづくりや健康づくりの推進のため交流活動を支援し、新規加入者の増加に努めていく。	生涯学習スポーツ課
				実績	2,147	1,877							
35	シルバー人材センター 会員就業率	%	100	目標値	100	100	100	100	100	概ね達成	93.7	シルバー事業への理解と新規会員の獲得に向け取組を行ったが、令和4年度の会員数は前年度より4人減の207人となった。 一方、受託事業における就業率は目標の100%を達成できなかったが、家庭等における軽度な修繕や作業、市委託事業としての軽度生活援助事業等、地域に密着した就業機会の提供を行い、高齢者の生きがいの充実が図られた。 今後も、働く意欲のある高齢者の会員確保と受託事業の新規拡大の支援を行っていく。	健康長寿課
				実績	92.9	93.7							
36	「住民主体の通いの場」の実施グループ数	カ所	5	目標値	15	25	30	35	40	未達成	88.0	目標達成には至らなかったが、コロナ禍の中で感染症対策を徹底し、住民主体の通いの場の拡大・拡充を図ったほか、住民主体による通いの場の必要性について、保健推進委員を対象とした地区別研修を実施するとともに、新規団体の立ち上げに向けた説明会や支援プログラムに沿った継続的な支援を実施した。 また、リハビリテーション専門職及び運動指導スタッフと連携することで、スタッフの技術向上及びプログラム内容の充実に取り組むことができた。 今後も事業を継続し、身体機能の低下や閉じこもりといったフレイルの予防に資する通いの場の拡充を目指す。	健康長寿課
				実績	16	22							
37	生きがい活動支援通所 事業利用回数	回	5,594	目標値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	未達成	76.2	遠野市社会福祉協議会及びとりもりに事業を委託し、参加者の生きがいづくりや閉じこもり防止を図った。この事業は、加齢により外出機会や交流機会が少なくなった高齢者にとって、通所による貴重な活動や交流の場となっている。 新型コロナウイルス感染症が拡大した際に、一定期間利用を休止する対策を取ったことや利用者の減少などにより、目標達成とはならなかったが、原因の分析を進め、ハートフルプランの改訂に合わせて事業内容を見直し、今後も事業の継続と新規利用者の増加に努めていく。	健康長寿課
				実績	4,451	4,193							
38	認知症サポーター養成 講座受講者数	人	200	目標値	220	230	240	250	260	達成	125.2	認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族への応援者（サポーター）として地域で活動される認知症サポーターの養成を行った。全国的な取組が展開される中、当市でも子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に養成講座を開催している。特に小学生を対象とした講座では、紙芝居や自作の視覚教材等を活用して、分かりやすい内容となるよう努めた。 今後も住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる「認知症にやさしいまちづくり」を推進するため、事業を継続し、市民の認知症の正しい知識と理解の普及に努めていく。	健康長寿課
				実績	368	288							

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
3	39	家族介護教室参加者数	人	225	目標値	230	240	250	260	270	未達成	76.3	遠野市社会福祉協議会に事業を委託し、高齢者を介護している家族等を対象に、公益社団法人認知症の人と家族の会から講師を招き、介護相談や情報交換を目的に交流会を計6回開催した。附馬牛町では介護サービス事業所の職員等と連携し、地区単位での交流会を2回開催した。 また、認知症の本人やその家族が自由に話ができる場として「オレンジカフェ」を6回開催した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度の参加者に限定して周知を行ったことから参加者数が目標を下回った。 今後も当事者やその家族等の意見や思いを汲みながら、在宅介護が継続できるよう事業内容を工夫して継続していく。	健康長寿課
					実績	105	183							
	40	福祉施設から地域生活への移行者数	人	0	目標値	2	2	2	2	2	達成	350.0	令和4年度は福祉施設から地域生活への移行者数が7名となり、令和3年に引き続き目標値を上回る結果となった。内訳は精神科病院からの移行が5名、入所施設からの移行が2名だった。 精神科病院及び入所施設において、本人及び保護者の意向を確認した上で、退院、退所後の生活を見据え、グループホーム等で体験を行うなどの支援を行った。 また、関係機関との情報共有と連携を図ることで、病院や施設から地域生活への円滑な移行に結びついている。 障がい者が地域で安心して自立した日常生活と社会生活を営むためには、障がい福祉サービスや相談支援体制の充実と、受け入れる側である地域住民への障害理解の促進が必要であることから、令和5年度に市直営の基幹相談支援係を新設し、相談支援体制の充実を図るとともに、地域自立支援協議会や各障がい者団体と意見交換を継続実施し、共生社会の実現に努めていく。	福祉課
					実績	3	7							
	41	福祉施設から一般就労への移行者数	人	0	目標値	1	1	1	1	1	達成	100.0	令和4年度は精神科病院を退院しグループホームへ移行した1名が、就労継続支援B型事業所での就労を経て、一般就労へ移行した。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた、障がい者就職相談会を3年ぶりに開催し、障がい者26名、事業所7社が参加した。参加者のうち数名が、一般企業での就労体験を行ったが雇用には至らなかったものの、就労継続支援A型事業所に4名が雇用となった。 病院及び入所施設から一般就労への移行はハードルが高く、就労継続支援A型及びB型事業所の利用から始めるなど、障がい者本人の就労への不安の解消を図りながら、より多くの企業へ障がい者雇用の理解促進が必要であることから、今後とも就労支援部会を通じて、障がい者雇用制度の周知や採用の働きかけを行い、一般就労へ移行できるよう支援していく。	福祉課
					実績	0	1							
42	合計特殊出生率	—	1.68 (H30実績)	目標値	1.74	1.76	1.78	1.80	1.80	概ね達成	92.6	合計特殊出生率は、1.63(令和3年度)で、目標に対し0.13ポイント下回ったが、前年より0.05ポイント増加した。岩手県の1.46を上回っているが、少子化傾向は依然として継続している。 安心して産み育てられる環境づくりのため、妊産婦あんしんサポート事業やすこやか子育て保健事業、幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリー・サポート・センター事業など、妊娠・出産から子育てまで来れない支援を継続していく。	子育て支援課	
				実績	1.58	1.63								
43	妊娠・出産について満足している者の割合	%	91.1	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	概ね達成	98.6	産後3～5か月の産婦を対象に「助産師や保健師から十分なケアを受けることができたか」について、アンケート調査を行った結果、「支援を受けることができ満足している」と回答した方の割合は93.7%(95人中89人)と目標値をやや下回ったものの、前年を2.0ポイント上回り、9割以上が満足している状況であった。 産後は特に母親の育児不安が高まる時期であり、身体的回復とともに精神的不安の軽減に努めるため、助産師等による産後ケアの充実を図っていく。特に宿泊施設を利用した産後ケアの利用促進を図り、妊娠前から子育て期におけるきめ細かい切れ目ない支援を継続し、妊娠・出産についての満足度の向上を目指す。	保健医療課	
				実績	91.7	93.7								
44	わらすっこ条例応援認定事業者数	事業者	39	目標値	41	42	43	44	45	達成	126.2	目標値である42事業者に対し、令和4年度は7事業者を新規認定、2事業者を更新認定し、認定事業者は53事業者となった。 従業員が育児休業を取得しやすい職場環境の整備や従業員の子育て時間を確保するための措置など、事業者の自主的な取組により子育て支援が促進されるよう、今後も普及啓発を図りながら、認定事業者の拡大に努めていく。	子育て支援課	
				実績	46	53								
45	児童館・児童クラブ利用登録率(小学生)	%	79.6	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	達成	102.3	令和3年度と比較し2.1ポイント減少したものの目標値は達成した。 市内全小学校区に児童館7か所、児童クラブ4か所を設置し、仕事等の理由により昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の居場所を提供し、子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援した。 児童館・児童クラブの運営は、社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、発達段階に応じた遊びを通じて利用児童の自主性、社会性、創造性の向上を促し、基本的な生活習慣等の健全育成を図った。 今後も安心安全な子ども居場所として、創意工夫を凝らした事業を展開するとともに、利用者のニーズに沿った運営に努めていく。	子育て支援課	
				実績	83.9	81.8								
46	水田の作付割合	%	85.0	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	概ね達成	96.1	農業者の高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症に起因する米価下落の影響に伴う離農や規模縮小、令和4年度からの永年生牧草交付金単価の見直し、物価高騰等の影響による畜産経営への圧迫から飼料作物の需要が減少するなどし、不作付地が前年度に比べ64ha増加し、水田の作付割合は前年度比1.8ポイント低下した。 水田活用の直接支払交付金の見直しや資材等価格の高騰など農業者の負担は増加しており、地域内飼料自給率の向上等を目的とした必要な支援策を講じながら水田の活用を進める。	農林課	
				実績	83.5	81.7								
47	担い手への水田の集積率	%	55.0	目標値	56.0	56.0	56.0	57.0	57.0	概ね達成	99.3	高齢化等を理由に離農や規模縮小する農業者が増加する中、担い手(認定農業者、新規就業者、集落営農)への集積や作業委託が進み、集積率は前年比7.1ポイント増加したが、目標は達成できなかった。 引き続き作物ごとの団地化推進による作業効率化や、耕作条件改善による収量向上を進めながら更なる集積率の向上を図る。	農林課	
				実績	48.5	55.6								

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況		
48	集落営農数	組織	21	目標値	21	22	22	23	23	未達成	86.4	集落営農組織の法人化や持続可能な経営を目指して、集落営農支援アドバイザーを1人雇用し、関係機関や生産者組織と連携し研修会を実施したが、集落営農組織構成員の高齢化に伴う離農などにより、解散を余儀なくされる組織があるなど、目標の達成には至らなかった。 今後は、地域内の担い手の掘り起こしと地域の話し合いを中心に集落営農組織の組織化を図っていくとともに、他業種からの参入も視野に入れていく。	農林課
				実績	19	19							
49	認定農業者数	経営体	315	目標値	300	295	290	285	280	概ね達成	99.0	高齢化に伴う規模縮小や離農により、認定農業者数は前年度から2人減少し292人となったが、概ね目標を達成することができた。 今後も、担い手支援アドバイザーの訪問活動による巡回指導や個別指導を継続実施するほか、各種研修会等の場で制度の周知を図り、認定農業者の育成に努めていく。	農林課
				実績	294	292							
50	次世代人材投資資金受給者数	経営体	14	目標値	14	14	14	14	14	未達成	42.9	新規就農者の拡大を図るための国の制度であり、関係機関が協力し、計画策定時からきめ細やかな支援を行う体制を整えながら、令和4年度中には、新たに1経営体が需給を開始した。 今後も関係機関と連携し、新規就農希望者に対する就農相談や計画策定などを継続支援しながら、地域農業の担い手の育成に努めていく。	農林課
				実績	13	6							
51	家族経営協定数(累計)	組	273	目標値	276	279	282	285	288	達成	103.9	経営管理の充実と就業条件改善が期待される家族経営協定の締結について、家族経営協定アドバイザー9名が主体となり農業委員会全体で推進し、5世帯の新規締結と4世帯の締結見直しを行った。 今後も、担い手の経営支援を図るため締結を推進していく。	農業委員会
				実績	286	290							
52	野生鳥獣による農作物被害額	億円	0.99	目標値	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	概ね達成	91.7	電気牧柵を中心とした防除体制の整備を推進するとともに、鳥獣被害対策実施隊による捕獲体制の強化を図っているが、前年度より被害額が増加した。要因としては、県内におけるニホンジカの生息数の増加、近隣市町村の捕獲庄の高まりによる本市への獣類の流入、農作物基準単価の上昇等が想定される。 今後は、駆除、防除、人材育成を3本柱に各種対策を継続し、地域ぐるみの被害防止対策を推進するほか、ICTを活用した有害駆除を実証しながら、捕獲活動の効率化を図る。	農林課
				実績	1.00	1.09							
53	多面的機能支払事業取組農地の割合	%	57.5	目標値	54.3	54.3	54.3	54.3	54.3	達成	100.4	多面的機能支払制度により、景観保全や農道・水路等の維持補修などの地域活動を支援し、地域資源の適切な安全管理と施設の長寿命化を行った。 農振農用地における取組農地(田)割合は54.5%で、組織数の1減や圃場整備事業等による対象面積の減少があったものの、前年並みの割合を堅持した。組織の高齢化が進む中で、組織維持に適切な事業計画の見直しや、新規活動組織の立ち上げへの支援を行ったほか、継続組織のうち1組織が新たに共同活動を開始するなど活動の充実が図られた。 今後は新任役員の事務サポートや、次期計画向け活動組織における検討の推進を支援し、各地域で活動が継続されるよう取り組む。	農林課
				実績	54.4	54.5							
54	中山間地域等直接支払事業取組農地の割合	%	21.3	目標値	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	達成	100.5	中山間地域等直接支払制度により、地域住民が中心となって農用地の維持や耕作放棄の防止に努め、多面的機能を維持した。また、同制度の加算措置を活用した農地整備や農作業機械の導入等も行われ、農業生産活動の効率化が図られた。 今後は、組織構成員の高齢化に伴い、組織体制維持に支障が生じる組織が見込まれることから、制度周知等による支援強化を図るとともに、組織の広域化を検討するなど、取組農地の面積を維持していく。	農林課
				実績	19.3	19.3							
55	繁殖素牛頭数	頭	2,025	目標値	2,200	2,300	2,400	2,500	2,600	達成	110.7	輸入飼料や配合飼料価格の高騰等に加え、子牛市場価格低迷の影響により経営がひっ迫する中であっても、畜産農家の努力により繁殖素牛頭数は前年並みを維持した。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動は回復傾向にあることから、引き続き国等の事業を活用しながら増頭意欲のある生産者を支援していく。	畜産園芸課
				実績	2,596	2,546							
56	和牛子牛市場出荷頭数	頭	1,635	目標値	1,760	1,840	1,920	2,000	2,080	未達成	78.4	輸入飼料や配合飼料価格の高騰等に加え、子牛市場価格低迷の影響により経営がひっ迫する中であっても、畜産農家の努力により子牛の市場出荷頭数は、目標値に満たなかったものの前年並みを維持した。 安定的な子牛の生産・出荷と、高値で取引される優良な牛づくりに向け、関係機関と連携して飼養管理等の指導を継続して行う。	畜産園芸課
				実績	1,450	1,442							
57	いわて遠野牛出荷頭数	頭	1,054	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	未達成	87.4	市独自の「遠野牛地域一貫体制整備事業費補助金」を継続し、肥育素牛の地域内保留を維持した。市内唯一の肥育農場の生産管理の都合上、出荷頭数は減少し目標値に達することができなかった。 引き続き肥育農場と連携を図りながら、計画的な生産により出荷頭数目標値を達成するよう努めている。	畜産園芸課
				実績	1,259	1,049							
58	馬生産頭数	頭	23	目標値	18	18	18	18	18	達成	161.1	新型コロナウイルス感染症経済対策事業(R2年度事業)で導入した農用繁殖雌馬の子馬が生まれるなど、農用馬の生産頭数が増加傾向にあり、現状維持を目標としていた指標を大きく上回る実績となっている。 引き続き、生産者との意見交換を密に行い、馬の生産、育成過程における負担軽減を図り、生産頭数の維持に努めていく。	畜産園芸課
				実績	28	29							
59	ホースパーク利用者数	人	1,978	目標値	2,000	2,000	2,100	2,100	2,200	未達成	22.4	コロナ禍により乗馬教室等の受入の自粛が続いたため、目標値を大幅に下回る結果となった。 令和4年度は、市民に限定してふれあい体験を実施するなど、実施可能な範囲で収益の確保に努めたほか、ホースパーク用の小格馬を3頭購入するなど、アフターコロナを見据えた入体勢の強化に努めている。 令和5年度は、乗馬市場50周年の節目の年であり、様々なイベントが予定されている。より多くの方に馬の魅力を伝え、馬事振興に関心を持ってもらえるよう、ふれあいの機会を増やしていく。	畜産園芸課
				実績	392	447							

様式 1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況		
60	農業生産額（耕種）	千万円	269	目標値	271	272	273	274	275	未達成	73.9	葉たばこ農家の廃作や8月の長雨により生産額が減少となった影響のほか、コロナ禍による需要減から野菜等の小売価格が低迷し目標を達成できなかった。生産農家の高齢化問題もあり、今後新規就農者の育成や栽培面積拡大の確保に努め、遠野市売れる農畜産物生産支援事業を活用し、園芸品目（野菜や花き）について栽培指導会などをを行いながら、販売目標を達成するよう努めていく。	畜産園芸課
				実績	234	201							
61	農業生産額（畜産）	千万円	402	目標値	400	405	410	415	420	未達成	87.7	粗飼料や資材等の価格高騰をはじめ、子牛市場の価格低迷などの影響から、肥育牛の出荷数量が減少し生産額は目標値を下回った。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動は回復傾向にあることから、引き続き国等の事業を活用しながら畜産経営を支援し、販売目標を達成するよう努めていく。	畜産園芸課
				実績	382	355							
62	農業生産額（特用林産）	千万円	28	目標値	28	29	29	30	30	未達成	57.9	わさびにおいては、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ需要が回復傾向にあり、昨年より市場価格が持ち直し販売額が増加した。 菌床しいたけにおいては、国・県の補助事業を活用し生産支援を行ってきたが、生産農家の減少により生産額、生産量ともに下回った。 原木しいたけにおいては、東日本大震災の影響により平成24年5月から流通が規制されており、しいたけを収穫する都度検査を実施する厳しい運用が求められている。 引き続き、市内原木しいたけの安全確保に努めるとともに、県、生産者との情報交換を密に行い生産量の向上を目指す。	畜産園芸課
				実績	18	16.8							
63	6次産業化関連効果額	億円	18.5	目標値	18.5	18.5	18.5	18.5	18.8	概ね達成	98.9	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、継続的に販売強化、売り場・イベント改善などを行った結果、特産品等の売上額は、前年度と比べ増（127.9%）となり、コロナ前の令和元年を上回る事ができた。 令和4年度は、目標達成できなかったが、農産物直売所入込数や販売額は回復傾向にあり、引き続き商品や売場、イベント等サービスの磨き上げを行い、6次産業化関連効果額の増に努める。	産業企画課 商工労働課
				実績	16.9	18.3							
64	森林整備面積（年間整備面積）	ha	484	目標値	490	490	495	495	500	未達成	83.8	民有林については、国の森林整備事業を活用しながら森林整備の推進を図った。そのうち、私有林については、森林組合が森林所有者に働きかけを行っているほか、市独自事業として①市の嵩上げによる91%補助（国庫補助68%、市補助23%、森林所有者負担9%）、②山林からの木材運搬に対する補助、③林地に残っている木材資源の運搬に対する補助を行い森林整備を推進している。 令和4年度は、ウッドショックの反動で木材の補助金が悪くなり、皆伐・間伐面積が減少した。 今後も遠野地方森林組合などの関係機関と連携し、各種補助制度の周知を図りながら、森林整備の推進を図っていく。	農林課
				実績	443.5	410.6							
65	民有林再造林面積	ha	62.0	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	未達成	66.5	伐採後の再造林を推進するため、遠野地方森林組合と連携して座談会等を開催し、森林所有者に対して、再造林に対する91%補助（森林所有者負担9%）などの支援制度の周知を図った結果、民有林の再造林は計画どおり推進された。 令和4年度は、県が管理する県有林や県行造林において、伐採後の再造林が行われなかったことにより目標値の達成とはならなかった。 今後も、遠野地方森林組合などの関係機関と連携し、根強く森林所有者に向けた事業周知を行い、再造林面積の増加を図っていく。	農林課
				実績	49.9	43.2							
66	木工団地事業体の売上高	億円	16	目標値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	未達成	83.9	令和4年度は、9事業体中7事業体が売上を減少させており、損益についても5事業体が前年比マイナスとなり、全体での目標値を達成することができなかった。 近年は、公共建築物だけでなく民間建築物にも木材利用推進が求められており、市場における木造建築物の需要に合わせて、引き続き支援を行うほか、森林のくに遠野・共同機構と連携し売上及び利益増を目指していく。	農林課
				実績	16.4	15.1							
67	松くい虫被害木駆除材積量	m	553	目標値	430	430	430	430	430	未達成	84.9	被害地域が西側から拡大してきている中、本市は被害の先端地域に位置することから、被害木については、市の東側を優先して徹底防除に努めている。 県森林病虫害防除員、遠野地方森林組合及び市内林業事業体との連携により、市内全域での被害の早期発見、早期駆除の徹底を図っており、沿岸部への被害を抑え込んでいる状況である。 令和4年度は、岩手県松くい虫被害木破砕等処理工場に市内林業事業体3社が認定されたことから、新たに、駆除の手法に運搬破砕を取り入れた。今後は、伐倒くん蒸と運搬破砕等の事業を連携させながら、被害木のより効率的な駆除の徹底に努めていく。	農林課
				実績	350	365							
68	特用林産物生産量（原木しいたけ）	t	3.2	目標値	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	概ね達成	97.1	本市の原木しいたけは、東日本大震災の影響により平成24年5月から流通が規制されている。 国や県が示すガイドラインに沿った栽培管理の徹底により、ほだ木の調達時やきのこの収穫時に、その都度検査の実施、新規伏せ込みの際のほだ場の除染など、生産者にとっては厳しい取組が求められる中、現在29名が出荷制限一部解除となっている。 震災後から行っている原木しいたけ生産資材（原木及び種駒）の導入助成により、原木しいたけの生産量は回復傾向にあるが、発生目前の降雨不足や朝晩の急激な温度変化などの影響により収量が減少し、目標値の達成とはならなかった。引き続き、市内原木しいたけの安全性確保に努めるとともに、生産技術を向上させるため、県、遠野地方森林組合、生産者との情報交換を密に行い、生産量の向上を目指す。	農林課
				実績	3.8	3.4							
69	市内給与所得者数	人	8,776	目標値	8,700	8,650	8,600	8,550	8,500	概ね達成	99.9	（令和5年度市税のあらましが公表前のため、令和4年度市税のあらましの数値を記載。） 地元就業者の減少、若者層の市外流出が懸念される中、雇用の確保が図られ、概ね目標を達成することができた。 今後は、労働力不足による経済の衰退を防ぐため、市外在住者で市内企業への就職を考える大学生やUターン希望者などを対象に、市内企業の魅力向上及び魅力発信を行い、市内企業への就職者の増を図っていく。	商工労働課
				実績	8,676	8,646							

様式 1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況		
70	製造品出荷額	億円	731 (H30実績)	目標値	407	408	430	500	530	達成	150.0	(令和4年経済センサス活動調査の結果が公表前のため、令和3年実績工業統計表の数値を記載。)市内企業において、経済活動の国際化に伴い、海外動向の影響が及ぶ状況になっている。近年の米中貿易摩擦による国内製造輸出の鈍化、ロシアによるウクライナ侵攻によって供給への懸念が高まり、目標値は達成したものの対前年比では減少した。今後も世界的な不確実性の高まりが想定される中、企業間連携など供給力の維持向上を促進する環境整備に引き続き取り組む。	商工労働課
				実績	661	612							
71	法人資産総額	億円	387	目標値	388	390	391	393	394	達成	141.5	商工会や関係機関と連携して支援したことから企業の設備投資が進み、目標を大きく上回った。引き続き、人口減少による人手不足に対応するため、市内企業の生産性向上に資する設備投資の促進を図る必要がある。	商工労働課
				実績	524	552							
72	市内法人数	社	663	目標値	650	651	652	653	654	概ね達成	94.5	人口減少や担い手不足の影響もあり、法人数は減少傾向が続いている。今後も人口減少の進行による地元消費市場の縮小と、それに伴う法人数の減少が懸念される中において、既存企業の新市場進出、業種転換、思い切った事業再構築に意欲をかきたてる支援に取り組む。	商工労働課
				実績	629	615							
73	中心市街地の観光施設等入込数	人	50,531	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	概ね達成	92.7	3年ぶりに日本のふるさと遠野まつりが開催されたこともあって、観光施設入込数は前年比23,367人の大幅な増となったが、目標値の達成には至らなかった。今後は、中心市街地の観光施設への誘客に向けて、令和5年4月に設立された「観光マネジメントボード遠野」が、本市の観光全体に係る取組の意思決定や、遠野市観光推進基本計画に基づいた各種事業の進行管理、参画組織間の情報共有・連携を図りながら、観光戦略の企画・立案を担うとともに、観光地域づくり法人(DMO)の登録に向けた取組を進め、持続可能な観光まちづくりの実現を目指していく。	観光交流課 まちづくり 推進課、文化課、商工 労働課
				実績	69,360	92,727							
74	中心市街地通行者数	人	2,635	目標値	2,700	2,700	2,750	2,750	2,800	未達成	76.7	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから観光客の増加が期待されたが、中心市街地の通行者数は対前年比214人の減となり、目標値に達しなかった。引き続き遠野商工会と連携しながら、新規出店等の掘り起こしや商店街等に対する活動助成などの支援を行い、通行者数の増加を図っていく。また、2023年に鍋倉城跡が国史跡に指定されたことや、2027年に南部家入部400年になることも合わせ、中心市街地の魅力向上にも力を入れていく。	商工労働課 まちづくり 推進課
				実績	2,285	2,071							
75	道の駅利用者を含む観光客入込数	万人	167	目標値	169	178	186	188	189	未達成	75.3	令和4年度は、北東北三県大型観光キャンペーンにより、県域を超えたPR展開が実施された年であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返され、感染者も大幅に増加したことなどから、目標値に達することができなかった。しかしながら、「日本のふるさと遠野まつり」が3年ぶりの開催となったことや、国の水際対策の緩和など、賑わいがみられる明るい兆しが見えた年度でもあり、対前年比では10.8%の増加となり、徐々にコロナ前までの水準に戻りつつある。今後は、令和5年4月に設立された「観光マネジメントボード遠野」が、本市の観光全体に係る取組の意思決定や、遠野市観光推進基本計画に基づいた各種事業の進行管理、参画組織間の情報共有・連携を図りながら、観光戦略の企画・立案を担うとともに、観光地域づくり法人(DMO)の登録に向けた取組を進めて、持続可能な観光まちづくりの実現を目指していく。	観光交流課
				実績	120	134							
76	宿泊客数	千人	69	目標値	62	69	74	79	80	未達成	84.1	令和4年度は、北東北三県大型観光キャンペーンにより、県域を超えたPR展開が実施された年であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返され、感染者も大幅に増加したことなどから、目標値に達することができなかった。しかしながら、「日本のふるさと遠野まつり」が3年ぶりの開催となったことや国の水際対策の緩和など、賑わいがみられる明るい兆しが見えた年度でもあり、宿泊クーポン事業及び回遊クーポン事業の継続によって、対前年比では23.4%の増加となり、徐々にコロナ前までの水準に戻りつつある。今後は、令和5年4月に設立された「観光マネジメントボード遠野」が、本市の観光全体に係る取組の意思決定や、遠野市観光推進基本計画に基づいた各種事業の進行管理、参画組織間の情報共有・連携を図りながら、観光戦略の企画・立案を担うとともに、観光地域づくり法人(DMO)の登録に向けた取組を進めて、持続可能な観光まちづくりの実現を目指していく。	観光交流課
				実績	47	58							
77	移住者世帯数	世帯	11	目標値	10	10	10	10	10	達成	150.0	東京都内を会場に、県主催の「THE いわて DAY(相談受付17組)」やふるさと帰省支援センター主催の「ふるさと帰省フェア(相談受付10組)」に参加し、コロナ禍前と同様に、対面形式で移住定住情報のPRを行った。「で・くらす遠野」では、市内民間団体や花巻市との広域的な連携により、移住希望者のワンストップ窓口に取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に情報発信した結果、令和4年度の相談件数は延べ135件と大幅に増加し、15世帯の移住につながった。今後は、移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等での遠野の魅力発信、空き家取得奨励金やリフォーム事業助成金等の利用促進など、移住定住に向けた取組を展開していく。	観光交流課
				実績	17	15							
78	で・くらす遠野ホームページ訪問者数	人	36,584	目標値	37,000	38,850	40,700	42,550	44,400	達成	107.1	インスタグラムなどのSNSを活用して効果的な情報発信を続けており、令和2年度のホームページリニューアル以降、訪問者は増加傾向にあり、目標値を達成することができた。空き家バンク登録物件を確認する訪問者も多いことから、宝島社の「田舎暮らしの本」の月刊誌及びウェブサイトで空き家情報の公開や、ライフホームズで運営する全国版空き家バンクでも情報を公開したことにより、ホームページ全体の閲覧数は16万3,271件と、過去最高となった。今後は、市の魅力発信や移住制度情報等の発信に努め、ホームページ訪問者数の増加につなげていく。	観光交流課
				実績	34,397	41,603							
79	で・くらす遠野市民制度年間会員数	人	206	目標値	220	230	240	250	260	概ね達成	90.9	令和4年度は、コロナ禍前のように、友好都市との交流事業や遠野郷人会総会を再び開催することができたため、「で・くらす遠野」市民制度のPRを様々な場面で実施した。また、令和4年度から移住支援情報の提供を中心とした無料会員を新設したため、令和3年度の会員数から大幅な増加を図ることができたが、目標値に対して概ね達成という結果になった。今後は、市民制度の周知に努め、継続会員の確保とともに新規会員の増加につなげていく。	観光交流課
				実績	168	209							

様式 1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
	80	交流事業参加者数	人	3,376	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	達成	120.2	大府市及び福岡市による遠野市産業まつりへの出店を支援し、前日には武蔵野市も加えた歓迎交流会を開催した。また、三鷹市、大府市及び福岡市のイベントに出店し、互いの物産販売とともにPRを行った。さらに、武蔵野市民ツアーの受入れや菊池市及び西米良村との住民相互交流を実施した。令和・南部藩事業として、南部氏に縁のある5市4町の首長等が参集した南部氏領内視察事業を山梨県南部町及び身延町で開催し、各市町の成果報告会を通して相互理解を深めた。今後も、相互交流の在り方を検証しながら、友好都市及び交流市町村等との絆を深め、交流人口の拡大を図っていく。	観光交流課
					実績	1,207	3,607							
	81	中学生の海外派遣数	人	9	目標値	9	9	9	9	9	未達成	0.0	新型コロナウイルス感染症予防のため、姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市への中学生派遣は中止を余儀なくされ、目標値を達成することはできなかった。これは別に、グローバルな視野と感覚を醸成する目的として、国内唯一の体験型英語研修施設への派遣事業(代替事業)を実施し、市内中学生19人が事前研修から派遣終了後まで、グローバルな視野を醸成するプログラムをやり遂げた。今後も自国「日本」や郷土「遠野」を考える機会の創出を図り、グローバルに対応することができる人材の育成に努めていく。	生涯学習スポーツ課
					実績	0	0							
4 ふるさとの文化を 育むまちづくり (26指標)	82	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	51.2	目標値	52.1	52.1	52.2	52.2	52.3	概ね達成	95.0	令和4年4月に実施した小学校全国標準学力検査の結果は、目標値は概ね達成しているものの目標値を2.6ポイント下回る状況となった。教科ごとの結果をみると、4教科中「国語」は全国標準を上回る結果であり、「算数」も全国標準まであと0.8ポイントの数値となっているが、「理科」及び「社会」においては、全国標準から3ポイント以上下回っており、全国標準との差が大きい。令和5年度以降については、学力検査等の分析結果の活用や児童個々の学力の実態把握に努め、習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基にしたPDOAサイクルによる授業改善やICT端末を活用した個別学習、さらには、放課後学習教室等による家庭学習の習慣化を図ることにより、児童の確かな学力の向上を図っていく。	学校教育課
					実績	50.1	49.5							
	83	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.8	目標値	48.8	48.8	48.9	48.9	49.0	概ね達成	98.6	令和4年4月に実施した中学校全国標準学力検査の結果は、目標値は概ね達成しているものの目標値を0.7ポイント下回る状況となった。教科ごとの結果をみると、「理科」が前年度を0.5ポイント上回っているが、「国語」「算数」「社会」は前年度を下回り、4教科全てで全国標準を下回っていることから、全体的な底上げが必要となっている。令和5年度以降については、学力検査等の分析結果の活用や生徒個々の学力の実態把握に努め、習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基にしたPDOAサイクルによる授業改善やICT端末を活用した個別学習、家庭学習の定着、さらには、中学校の学習支援に向けた事業の実施などにより、生徒の確かな学力の向上を図っていく。	学校教育課
					実績	48.6	48.1							
	84	学校給食に使用する遠野産食材の割合	%	64.9	目標値	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	概ね達成	90.9	物価高騰の影響を受け食材の値上げが続いているが、市の補填及び交付金を活用し、必要量の食材を調達することができた。給食用米については、昨年までと同様に、全て遠野産を使用した。野菜については、天候不良により根菜類の納品量が減ったため、遠野産食材の割合(重量)は昨年度を下回ったが、優先的に遠野産食材を使用するよう献立を工夫することで、目標値を概ね達成した。また、関係者の協力を得て、貴重な伝統野菜を初めて提供することができた。今後も、産直給食会を始めとする生産者と連携して旬な食材を取り入れ、地産地消と食育を推進していく。	学校給食センター
					実績	63.3	60.0							
	85	市民センター施設の利用件数(スポーツ施設除く)	件	3,932	目標値	3,600	3,600	3,650	3,650	3,700	概ね達成	98.0	市民会館及びふれあい交流センターの空調設備の改修を継続的に行うなど、利用者が快適に利用できる環境の整備に努めたことにより、利用件数は前年度と比較して263件の増加となり、目標値を概ね達成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和傾向となったことで、社会教育団体等の定期利用や大ホールでの各種イベント等が再開され、多くの施設で大幅な利用増となった。今後は、コロナ禍前のように各種イベントが再開されてくるものと見込まれることから、指定管理者と連携しながら感染対策とのバランスに配慮し、安全安心な施設利用の促進を図るとともに、より良い環境づくりに努めていく。	市民協働課
					実績	3,266	3,529							
	86	市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く)	人	102,133	目標値	96,900	96,900	97,000	97,000	97,100	未達成	87.1	市民会館及びふれあい交流センターの空調設備の改修を継続的に行うなど、利用者が快適に利用できる環境の整備に努めたことにより、利用件数は前年度と比較して18,530人の増加となったが、目標値を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響が緩和傾向となったことで、社会教育団体等の定期利用や大ホールでの各種イベント等が再開されたことで、多くの施設で大幅な利用増となったものの、引き続き感染対策のための「3密」回避の動きから、利用件数がコロナ禍前の約9割まで回復した一方で、利用人数についてはコロナ禍前の約8割と伸び悩んだ。今後は、コロナ禍前のように各種イベントが再開されてくるものと見込まれることから、指定管理者と連携しながら感染対策とのバランスに配慮し、安全安心な施設利用の促進を図るとともに、より良い環境づくりに努めていく。	市民協働課
					実績	65,898	84,428							
	87	全講座における継続的講座数	講座	8	目標値	5	5	6	6	6	達成	240.0	新型コロナウイルス感染症対策を図り、高齢者大学や趣味の市民協働企画事業等を継続的に開催し、目標値を達成することができた。今後は、社会教育関係団体等との連携を図りながら、市民が「いつでも、どこでも、だれもが」学ぶことができる機会を創出していく。	生涯学習スポーツ課
					実績	6	12							
	88	市民センター等の生涯学習講座の延べ受講者数	人	5,254	目標値	4,800	4,800	4,850	4,850	4,900	達成	103.0	関係団体と連携して新型コロナウイルス感染症対策を図り、令和3年度より回数を増やして生涯学習・社会教育講座を開催した。また、密を回避するためにオンライン講座を開講するなど、コロナ禍に対応した新たな取組により目標値を達成することができた。今後は、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」に資する社会教育講座を企画、運営し、開かれ、つながる社会教育の実現に向けて取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課
					実績	2,186	4,944							

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
						目標値	実績	目標値	実績	目標値				
89	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	1,125	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	達成	107.0	新型コロナウイルス感染症拡大により、14校中4校の小中学校で講座を中止とし、10校の小中学校で家庭教育講座を開催した。コロナ禍におけるコミュニケーション不足が課題となっている中、親子のコミュニケーションをテーマとした講座が多く開催され、目標値を達成することができた。 今後も子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力向上のため、PTAや地域関係団体と連携した講座の実施と参加者の確保に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	1,343	1,070								
90	青年団体加入者数（累計）	人	75	目標値	80	80	80	80	80	達成	172.5	新規事業の実施やSNSの活用により積極的に活動をPRした結果、事業への参加者が増えたほか、新規会員を呼び込むことができた。 今後も、それぞれの目標に向けた特色ある取組を尊重しながら、会員確保に向けた周知や活動内容の助言に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	158	138								
91	自主事業の顧客満足度	%	99.0	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	未達成	0.0	新型コロナウイルス感染症予防のため令和4年度の事業実施を見送ったことから、目標値は未達成となった。 コロナ禍の終息を見据え、令和4年度中に令和5年度自主事業再開に向けて関係機関と検討を重ね、今後も多くの市民が文化芸術に触れる貴重な機会として、対象を明確にした自主事業を開催するなど、鑑賞者が満足できるような企画の立案に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	98.8	0.0								
92	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	1,294	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	未達成	56.3	遠野市民芸術祭や遠野物語ファンタジーなどの芸術文化事業参加者は、固定化・高齢化傾向にあり、目標値を達成することができなかった。 今後は、より一層関係機関・団体と連携しながら、子どもから大人まで幅広い年齢層が参加できるような仕掛けづくりをし、長期的に芸術文化事業に携わることができるように取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	607	676								
93	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	6,449	目標値	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	未達成	53.8	遠野市民芸術祭、遠野物語ファンタジー、遠野市民センターバレエスタジオ発表会など、市民センター等を会場とした芸術文化事業を開催したものの、新型コロナウイルスの感染を恐れ鑑賞を控える方が多数いたため、目標を達成することができなかった。 今後は、芸術文化団体が主催する事業を更に支援するとともに、より多くの市民が興味関心を持ち鑑賞するような芸術文化事業を市も企画していく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	2,974	3,442								
94	博物館入館者数	人	17,633	目標値	17,800	17,850	17,900	17,950	18,000	未達成	78.6	柳田国男没後60年に合わせた夏季特別展「遠野物語の世界」、春季企画展「京極夏彦のえほん遠野物語原画展」、秋季企画展「遠野物語と山の信仰」、冬季特別展「遠野のひな人形」を計画通り開催し、入館者数は前年度比137%（3,804人増）の14,027人となり、市内外に遠野の文化と魅力を情報発信することができた。 前年度からは大幅に入館者数が増加したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、目標値を達成することができなかった。 入館者数は回復傾向にあることから、博物館公式SNS（フォロワー数23,000人）を効果的に活用し、令和5年度以降も魅力的な企画と情報発信に努める。	文化課	
				実績	10,223	14,027								
95	博物館講座等の受講者数	人	1,333	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	達成	106.8	市内小中高校と連携し、ニーズに応じた博物館教室を実施した。出前講座や特別展・企画展に運動したイベント、地域への移動展示などを積極的に開催し目標値を達成することができた。 今後も関係機関と連携を深めながら事業を実施する。	文化課	
				実績	958	1,068								
96	博物館特別展の見学者の満足度（11段階評価）	点	-	目標値	6	6	6	6	6	達成	148.3	特別展を計画どおりに開催し、見学者の満足度は目標値を上回る平均値8.9となった。今後も来館者のニーズに合わせた魅力的な特別展を開催する。	文化課	
				実績	8.4	8.9								
97	図書館の利用者登録率	%	40.0	目標値	40.3	40.6	41.0	41.4	41.8	概ね達成	97.8	工作会及びワークショップ等のイベントの開催についてホームページや広報誌、遠野テレビ等を活用し、積極的に情報発信を行い、図書館の利用促進とともに利用者登録の増加を図った。 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い来館者が減少したが、感染対策を実施し安心して利用できる環境づくりに努め、概ね目標を達成することができた。 今後も利用者の利便性の向上とサービスの充実に努め、利用者登録の増加を図っていく。	文化課	
				実績	38.9	39.7								
98	市民一人あたりの平均貸出冊数	冊	2.7	目標値	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	未達成	82.8	利用者のリクエストを反映した図書の新書の充実、季節やテーマごとの本の企画展を開催するなど、読書推進による貸出冊数の拡大に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の減少により、目標値の達成に至らなかった。 今後も利用者の関心を集める様々なテーマの企画展の実施、移動図書館車による計画的な巡回等により利用を促進し、利用しやすい環境づくりに努め、貸出冊数の増加を目指していく。	文化課	
				実績	2.5	2.4								
99	学校図書館・児童館への児童生徒一人あたりの平均貸出冊数	冊	12.4	目標値	12.8	13.4	13.9	14.5	14.8	達成	100.7	小中学校と連携して図書館教室等を開催するなど、児童生徒へ図書館業務への理解を深めることで本への興味・関心を高め、読書に親しむ機会を提供したほか、多読表彰を実施し、読書活動の充実を図った。 小中学校及び児童館への図書貸出（小学校13,050冊、中学校2,880冊、児童館5,700冊）の実施による読書推進を図り、目標を達成することができた。 引き続き、小中学校・児童館と連携し、充実した図書資料の施設貸出に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進を図っていく。	文化課	
				実績	12.8	13.5								

様式 1

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率
5 みんなで考え あうまちづくり (11指標)	100	文化財説明板設置件数 (累計)	基	96	目標値	97	98	99	100	101	達成	107.1	遠野遺産認定に伴う5基の看板を設置し文化財の周知に努めた。 今後も計画的に文化財説明板及び案内板の設置、更新、修繕を進める。	文化課
					実績	100	105							
	101	継承されている民俗芸 能の種類	種	11	目標値	11	11	11	11	11	達成	100.0	新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動が停滞した団体もあったが、各保存会への備品整備の補助により活動を支援したほか、郷土芸能共演会及び神楽共演会の開催を支援するなど披露の場を創出したことにより、11種類の芸能の継承を支援することができた。 今後も郷土芸能協議会のほか、観光関係者等との連携により、披露の場の創出や新たな担い手の発掘に努め、すべての芸能を未来に継承できるよう各保存会への支援を継続する。	文化課
					実績	11	11							
	102	遠野遺産認定件数(累 計)	件	159	目標値	162	163	164	165	166	達成	103.7	推薦された新たな3件(金尾羅神社、宝領神社、旧遠野街道跡と追分の碑)を遠野遺産として認定した。今後も表示板や公式ガイドブック、ホームページなどにより遠野遺産の周知を行うとともに、認定後の遺産の活用を促し、文化的資産の保護・活用を通じた地域づくりを推進する。	文化課
					実績	166	169							
	103	文化財を保存活用する 市民団体等の数	団体	137	目標値	139	140	141	142	143	達成	100.7	附馬牛町内の文化財を掘り起こし、YouTubeチャンネルを開設し情報発信している「附馬牛町地域づくり協議会」と、令和4年度遠野遺産推薦団体である「遠野町上早瀬自治会」も追加したため、141団体となり、目標を達成することができた。今後も市民団体等との連携により、文化財の保存活用を促進していく。	文化課
					実績	139	141							
	104	文化財保護に対する寄 付件数(累計)	件	332	目標値	500	700	900	1,100	1,300	達成	191.7	ふるさと納税の取組において、曲り家千葉家世紀の大修理を選択した件数が284件、累計が1,342件となり目標を達成することができた。引き続き情報発信を行い、遠野市の文化財への関心を高め、寄付件数の増に繋げていく。	文化課
					実績	1,058	1,342							
	105	文化財に関するHPへ のアクセス数	件	25,217	目標値	26,000	27,000	28,000	29,000	30,000	達成	1074.0	イベントごとの情報発信や、こまめな情報更新により目標を大幅に上回ることができた。今後も積極的に文化財に関する情報発信を推進していく。	文化課
				実績	102,546	289,986								
106	市史刊行冊数(累計)	冊	1	目標値	1	1	2	4	4	達成	100.0	新たな市史の刊行はなかったが、『遠野市史叢書3 遠野南部家御用留書 嘉永年間(下)』を刊行した。令和5年度からの資料編の刊行に向け、市史編さん委員会を2回開催し、全体的な事業計画等を審議するとともに、各専門部会でも資料の収集・調査を進めたほか、資料の取り上げ方や原稿の体裁などについての協議を重ねた。 市史編さん講座を1回、古文書講座を3回開催し、また、「遠野市史編さん活動報告」の発行などにより編さん活動の周知に努め、遠野の歴史に関する教育普及を図った。 今後も、編さん活動の成果を積極的に発信するとともに、市民からの資料提供を呼びかけ、市民協働で市史編さん事業を推進していく。	市史編さん 室	
				実績										
107	子ども本の森遠野入館 者	人		目標値	10,000	12,500	15,000	17,500	20,000	達成	169.5	令和4年4月から令和5年3月末まで、21,190人(市内6,985人、県内9,919人(うち沿岸被災地1,397人)、県外4,286人)の方が来館した。今後も遠野だけの施設ではなく、沿岸被災地との文化のネットワークを作る拠点として、また、わらすっこが安心して想像力と創造力を育む居場所として、遠野から世界に文化を発信していく。	子ども本の 森運営企画 室	
				実績	14,805	21,190								
108	市内河川清掃参加者割 合	%	24.0	目標値	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	概ね達成	92.9	令和4年6月から8月にかけて市内全域で実施したが、人口減少や高齢化により参加人数は減少傾向にあり、参加者は目標値を1.7%下回ったものの、河川の環境整備の必要性や参加意識は依然として高く、市民協働により河川の景観維持や環境保全を図ることができた。 河川の環境整備により、自然環境の保護、住みやすいまちづくりや市民協働の推進が実現されているため、今後も継続して実施していく。	環境課	
				実績	23.2	22.3								
109	みんなで築くふるさと 遠野推進事業実施数	事業	157	目標値	160	160	160	160	160	概ね達成	96.3	全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから5年目の取組となり、新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小や中止した事業が39件あるが、遠野遺産や集会所の改修等ハード事業にも取り組み、令和4年度の事業件数は前年度比6件増の154件と、目標値を概ね達成することができた。 今後も新型コロナウイルス感染症予防と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。	市民協働課	
				実績	148	154								
110	みんなで築くふるさと 遠野推進事業参画者数	人	3,963	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	未達成	89.6	全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから5年目の取組となり、遠野遺産や集会所の改修等ハード事業にも取り組み、参画者数は前年度比675人増の3,582人となったが、新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小や中止した事業が39件あり、目標を達成することはできなかった。 今後も新型コロナウイルス感染症予防と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。	市民協働課	
				実績	2,907	3,582								
111	各委員、協議会の女性 参画率	%	26.7	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	達成	100.0	各委員・協議会における女性の参加率は、目標値を達成することができた。 今後もより一層女性が参画できる環境を構築するため、男女共同参画の啓発に努める。	生涯学習ス ポーツ課	
				実績	29.7	30.0								

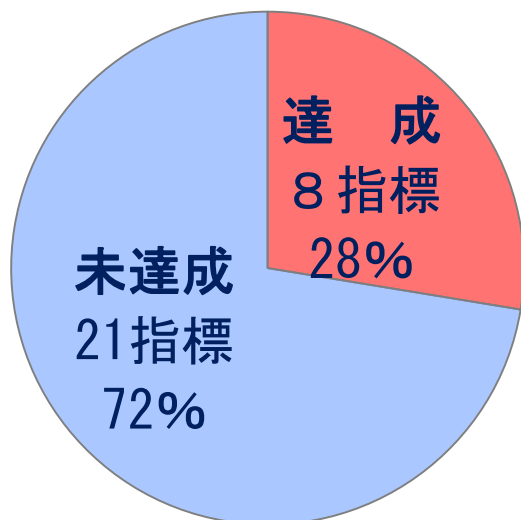
大綱	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況		
112	市長と語る会（みんなの井戸端会議）参加者数	人	392	目標値	300	300	300	300	300	概ね達成	99.3	令和3年度から「市長と語る会」は「みんなの井戸端会議」に名称を変え、地区センター等を会場に11地区で開催し、258人の市民が市長と直接意見交換を行った。 また、特定の市政課題についてテーマを絞って意見交換する「テーマ別井戸端会議」は、「地域の介護サービスの充実策について」、「地場産業の起業について」、「ごみの減量に向けた取組について」、「観光を活用した郷土芸能の保存と活動について」の4つのテーマで、各団体等で実践している方々40人と課題解決に向けた意見交換を行った。 今後も、これら井戸端会議を基本としながら、市民の意見を直接伺う機会を設けていく。	経営企画課
				実績	416	298							
113	経営改革大綱実行計画の達成率	%	90.5	目標値	80.0	80.0	90.0	90.0	100.0	達成	125.0	第4次経営改革大綱の3つの基幹計画である、「第四次遠野市健全財政5カ年計画」、「第4次遠野市定員管理計画」、「遠野市公共施設等総合管理計画」及び、7つの実行項目に基づく21の取組全てについて達成することができた。 今後も、行政の健全経営と住民サービスの充実に向けて、自治体DXをはじめとする行政サービスの改革に取り組んでいく。	経営企画課
				実績	100.0	100.0							
114	市税等の収納率（現年分）	%	97.53	目標値	97.54	97.54	97.55	97.55	97.56	達成	100.5	市税等収納対策本部本部員会議で決定した収納対策プロジェクトチーム（公金関係課）スタッフによる催告書の共同発送を実施したほか、催告書発送の翌月を徴収強化期間とし、電話催告の実施のほか税務課窓口での納付啓発ディスプレイやチラシ・広報配布を行った。さらに市税においては、コンビニエンスストアやスマートフォンアプリなどによる電子納付を継続実施し、納税者の利便性向上に努めた。 今後も、引き続き公金担当関係課との情報共有を図り、時期を捉えた催告及び日ごろからの啓発活動と積極的な滞納処分に取り組み、より一層の収納率の向上に結びつける。	税務課
				実績	98.04	98.00							
115	経常収支比率（普通会計）	%	88.1	目標値	88.1	88.0	87.9	87.8	87.7	概ね達成	97.5	財政の健全化を示す「経常収支比率」は、前年度よりも3.1ポイント高い90.3%という結果となった。 同比率の分子となる歳出経常一般財源は、行政事務包括業務の縮小により物件費分は18,816千円減、保育士等処遇改善に係る特定財源の増加により扶助費分は90,039千円減となった。一方で、分母となる経常的経費に係る一般財源（歳入）は、市町村民税及び固定資産税の増加により地方税は170,741千円増、地方交付税は319,564千円減、臨時財政対策債は304,700千円減となり、分子より分母となる歳入の減少幅が大きくなったことが影響し同比率は増加となった。 今後も厳しい財政事情が続く見込みであるが、予算編成等における経費削減を徹底しながら、これまで以上の対策を講じていく。	財政課
				実績	87.2	90.3							
116	実質公債費比率（普通会計）	%	11.5	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	達成	108.1	本市の財政規模に対し、地方交付税による国からの支援分を差引いた実質的な借入金返済の負担割合を示す「実質公債費比率」は、前年度よりも0.3ポイント高い11.1%となった。 前年度と比較し、同比率の分子となる元利償還金の額が令和3年度に借入したケーブルテレビFTTH整備事業に係る過疎対策事業債の償還が開始されたことなどにより16,564千円増加したことや分母となる普通交付税が314,007千円、臨時財政対策債発行可能額が304,741千円それぞれ減少したことが要因として挙げられる。 令和5年度の返済にあたる公債費の元金は、予算ベースで107,005千円減の2,035,019千円、借入にあたる市債発行見込額は1,999,200千円となっており、今後も目標値を達成できるよう、適正な財政運営に努めていく。	財政課
				実績	10.8	11.1							
117	市民一人当たりの借入金残高	千円	444	目標値	514	503	488	462	440	達成	106.8	第四次遠野市健全財政5カ年計画に基づき、返済のお金よりも借入れるお金を少なくするプライマリーバランスの黒字化を堅持した結果、市民一人当たりのソフト事業や財源を補てんするための借入金を除いた建設事業充当借入金残高は、目標値よりも32千円少ない471千円（前年度比△16千円）となった。 分母となる人口も減少したものの投資的事業の選択と集中により借入額を抑制し、総借入金残高を減少させ、市民一人当たりの残高は前年を下回る結果となった。 今後も、借入額と返済額のバランスを見ながら、投資的事業の選択と集中により総借入金残高を減少させるよう努めていく。 なお、建設事業充当借入金残高の総額は約11,733,552千円となっている。実績値は、この残高を令和5年3月末現在の住民基本台帳人口24,906人で割り戻した数値である。	財政課
				実績	487	471							
118	市職員数	人	339	目標値	337	333	336	333	335	達成	101.8	第4次定員管理計画（令和3年度～令和7年度）に基づく定員管理を行った結果、計画に対し6人の減となった。 減となった要因は、職員採用者数6人に対し定年前早期退職者の増により退職者が11人となったことによるものである。 令和5年度からは、定年を65歳に段階的に引上げることにより、退職者数が減少する見込みであり、第4次定員管理計画を見直しを行い退職予定者の推移をみながら、計画的な職員採用を実施し適正な定員管理に努める。	総務課
				実績	332	327							

重要業績評価指標(KPI)について

資料No.3-3

第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略（令和2～6年度）における重要業績評価指標（KPI）は、達成目標を年度ごとに設定しています。毎年度、達成状況の実績を市民に公開しています。

指標達成割合



令和4年度KPI 29指標
その実績は

8指標(**28%**)が**達成**

(令和3年度の実績は、29指標中10指標(34%)が達成)

達成 (達成率 100%以上)

8指標(**28%**)

未達成 (達成率 100%未満)

21指標(**72%**)

第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略は、令和2～6年度を計画期間とする地方版総合戦略です。

第2期計画の達成状況を評価するための重要業績成果指標（KPI）は29指標を設定しており、令和3～7年度を計画期間とする第2次遠野市総合計画後期基本計画との整合性を図るため、まちづくり指標と連動する一部のKPIについては見直しを行い改訂しています。

令和4年度のKPI未達成の指標のうち、「No.8：農産物直売所売上額」「No.9：6次産業化関連効果額」「No.12：地域間交流者受入数」「No.19：遠野市ひとパワー」「No.20：道の駅「遠野風の丘」の販売額」「No.21：道の駅「遠野風の丘」年間入込数」「No.22：ビールの里関連イベント参加者数」の7指標は、新型コロナウイルス感染拡大による影響を大きく受けた指標で、前年度に引き続き未達成となりました。

また、未達成の指標のうち、「No1：納税義務者の総所得金額」「No2：納税義務者数(個人)」「No5：農家世帯割合」「No8：農産物直売所売上額」「No.9：6次産業化関連効果額」「No.12：地域間交流者受入数」「No15：この地域で子育てをしたいと思う親の割合」の7指標は、達成度が95%を超えており、僅かに指標に届きませんでした。

第 2 期遠野スタイル創造・発展総合戦略の K P I の実績について（令和 4 年度）

資料No.3-4

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興	1	納税義務者の総所得金額	百万円	商工労働課	25,636 (R1)	目標数値	25,933	26,239	26,548	26,861	27,178	99.9	未達成	(令和5年度市税のあらましが公表前のため、令和4年度市税のあらましの数値を記載。) 事業の生産性向上に向けた取組により昨年引き続き、給与所得と営業所得が増加し市民所得の向上が図られた。 今後は、成長が期待されるものづくり産業を中心に、地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上を図ることにより、まちに賑わいと活力を生み出し、民間投資の喚起や所得の増加につなげていく。	昨年と同様に金融機関と連携して資金繰り支援を講じたほか、中小企業者の事業継続と、市内における消費喚起のための地域経済対策を講じた。国、県、市の連携による財政支援等により、コロナ禍で沈む地域経済を下支えることができた。
						実績値	25,498	26,216	26,513						
	2	納税義務者数	人 (個人)	商工労働課	10,648 (H30)	目標数値	10,707	10,766	10,826	10,886	10,946	95.7	未達成	(令和5年度市税のあらましが公表前のため、令和4年度市税のあらましの数値を記載。) 人口減少と高齢化の影響により、納税義務者数は減少傾向が続いている。 若者の雇用確保に向けた情報・魅力発信を行うとともに、市内企業の仕事を知らず、体験させることで人材確保に向けた支援策の充実に取り組んでいく。	生産性向上に向けた設備投資を行い企業の業績は改善されたものの、依然として、市内の有効求人倍率が高く推移し、人手不足が顕著に表れている。 また、商業施設や広報等を行い、市民に周知を行った。
						実績値	10,574	10,511	10,364						
3		社 (法人)	商工労働課	654 (R1)	目標数値	655	650	651	652	653	94.5	未達成	人口減少や担い手不足の影響により、法人数は減少傾向が続いている。 今後、関係機関と協力し事業者の伴走支援等を円滑に行い、効果的に課題解決を図っていく。	コロナ禍にあって、中小企業者の事業継続を支援するため、事業者の固定費負担軽減策を講じた。 また、コロナ収束後の景気回復を見据えた企業の設備投資を支援し、事業の生産性向上を促進した。	
					実績値	651	629	615							
4		製造品出荷額	億円	商工労働課	717 (H29統計)	目標数値	732	430	500	530	560	122.4	達成	(令和4年経済センサス活動調査の結果が公表前のため、令和3年実績工業統計表の数値を記載。) 市内企業において、経済活動の国際化に伴い、海外動向の影響が及ぶ状況になっている。 近年の米中貿易摩擦による国内製造輸出の鈍化、ロシアによるウクライナ侵攻によって供給への懸念が高まり、対前年比で減少した。 今後も世界的な不確実性の高まりが想定される中、自社の被害想定だけでなくサプライチェーン全体を俯瞰し、調達先の分散など、多面的なリスク対応を通じて柔軟性を強化していく。	コロナ収束後の景気回復を見据え、企業の設備投資を促進するため、商工業・再構築補助金により、市内27事業の生産性向上を支援した。
						実績値	731	661	612						
【重点プロジェクト2】 タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	5	農家世帯割合	%	農林課	41.09 (R1)	目標数値	41.20	41.31	41.42	41.53	41.64	98.5	未達成	令和4年度の農家世帯数は、前年度と比較し66世帯減少した。 今後においては、取得した農地の有効活用を促すため、第3次遠野市農林水産振興ビジョンに基づく各種施策を実施していく。	
						実績値	40.79	41.65	40.79						
	6	新規就農世帯数	世帯	農林課	2 (H30)	目標数値	7	7	7	7	7	57.1	未達成	農地法3条を活用し、新規に農地を取得又は借りた世帯数は4件に留まった。 しかしながら、新規に認定農業者等の認定を受けた世帯もあり、農業関係人口の維持・拡大の役割を果たした。 (1) 認定新規就農者から認定農業者への切替 2件 (2) 認定農業者への新規認定 1件 (3) 認定新規就農者への新規認定 1件 今後は、新たに農業に取り組もうとする世帯の掘り起こしを積極的に行う。	
						実績値	5	4	4						
	7	重点野菜出荷額	億円	畜産園芸課	1.9 (H30)	目標数値	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	87.5	未達成	重点品目については、ネギを品目追加したことで、前年より生産額が増加したが、目標数値には届かなかった。 今後は生産者の維持、新規生産者の確保に努め、遠野市売れる農産物生産支援事業の周知を図るとともに関係機関と連携し支援を継続を図る。	飲食店の休業措置の継続により、需要が減少した。
実績値						2.3	2.0	2.1							
8	農産物直売所売上額	億円	畜産園芸課	5.9 (H30)	目標数値	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0	98.3	未達成	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除により、入込数及び販売額共に増加に転じており、特に市外からの来客が多い道の駅内の産直や釜石自動車道 I C 付近の産直で前年度を上回った。 今後は、感染防止対策を継続しながら、各産直個々の魅力を高める取組をし、更なる売り上げの回復を目指す。	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除により、市内各産直において入込数及び販売額は全体的に回復傾向となった。 また、前年に引き続き、産直連絡協議会を通じて、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、ガイドラインに沿った施設運営を徹底した。	
					実績値	4.8	4.9	5.7							
9	6次産業化関連効果額	億円	商工労働課 産業企画課	18.2 (H30)	目標数値	18.3	18.5	18.5	18.5	18.5	98.9	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、継続的に販売強化、売り場・イベント改善などを行った結果、特産品等の売上額は、前年度と比べ増(127.9%)となり、コロナ前の令和元年度を上回ることができた。 令和4年度は、目標達成できなかったが、農産物直売所入込数や販売額は回復傾向にあり、引き続き商品や売場、イベント等サービスの磨き上げを行い、6次産業化関連効果額の増に努める。	イベントの中止により売上が減少した事業者や果ごもり需要等をターゲットとした新商品を開発する事業者に、販路開拓や新商品開発の実施に対して、6次産業チャレンジ応援事業費補助金により適当な支援を行った。 ・販路拡大への支援 2件 ・新商品開発への支援 4件	
					実績値	14.6	16.9	18.3							

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策	
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	10	移住者世帯数	世帯	観光交流課	6 (H30)	目標数値	10	10	10	10	10	150.0	達成	<p>東京都内を会場に、県主催の「THE いわて DAY（相談受付17組）」やふるさと回帰支援センター主催の「ふるさと回帰フェア（相談受付10組）」に参加し、コロナ禍前と同様に、対面形式で移住定住情報のPRを行った。</p> <p>「で・くらす遠野」では、市内民間団体や花巻市との広域的な連携により、移住希望者のワンストップ窓口に取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に情報発信した結果、令和4年度の相談件数は延べ135件と大幅に増加し、15世帯の移住につながった。</p> <p>今後も、移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等での遠野の魅力発信、空き家取得奨励金やリフォーム事業助成金等の利用促進など、移住定住に向けた取組を展開していく。</p>	新型コロナウイルスの影響による全国的な地方移住の流れは継続しており、移住相談の増加傾向が続いている。	
						実績値	7	17	15							
	11	観光客宿泊割合	%	観光交流課	13.64 (H30)	目標数値	13.71	13.77	13.78	13.78	13.78	117.7	達成	<p>令和4年度は、北東北三県大型観光キャンペーンにより、県域を超えたPR展開が実施された年であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返され、感染者も大幅に増加するなど、依然として観光業にとっては厳しい年であった。</p> <p>一方では、「日本のふるさと遠野まつり」が3年ぶりの開催となったことや、国の水際対策の緩和など、賑わいがみられる明るい兆しが見えた年度でもあり、入込数も宿泊者数も前年度と比較して増加しており、徐々にコロナ前までの水準に戻りつつある。</p> <p>今後は、令和5年4月に設立された「観光マネジメントボード遠野」が、本市の観光全体に係る取組の意思決定や、遠野市観光推進基本計画に基づいた各種事業の進行管理、参画組織間の情報共有・連携を図りながら、観光戦略の企画・立案を担うとともに、観光地域づくり法人（DMO）の登録に向けた取組を進めて、持続可能な観光まちづくりを目指していく。</p>	新型コロナウイルスの影響により、観光業や宿泊業にとっては依然として厳しい年度となったが、宿泊クーポン事業及び回遊クーポン事業を継続し宿泊客数の確保を図った。	
						実績値	15.31	17.17	16.22							
	12	地域間交流者等受入数	人	観光交流課	861 (H30)	目標数値	900	900	900	900	900	95.3	未達成	<p>大府市及び福岡町による遠野市産業まつりへの出店を支援し、前日には武蔵野市も加えた歓迎交流会を開催した。</p> <p>また、武蔵野市民ツアーの受入れや菊池市及び西米良村との住民相互交流を実施した。</p> <p>今後も、相互交流の在り方を検証しながら、友好都市及び交流市町村等との絆を深め、交流人口の拡大を図っていく。</p>	一部の児童交流事業が再開できなかったり、縮小開催となった事業もあったため、目標の受け入れ人数には届かなかった。	
						実績値	198	92	858							
	13	で・くらす遠野市民新規会員割合	%	観光交流課	18.6 (H30)	目標数値	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	162.2	達成	<p>令和4年度は、コロナ禍前のように、友好都市との交流事業や遠野郷人会総会を再び開催することができたため、「で・くらす遠野」市民制度のPRを様々な場面で実施した。</p> <p>また、令和4年度から移住支援情報の提供を中心とした無料会員を新設したため、令和3年度の会員数から大幅な増加を図ることができたこともあり、目標数値を達成することができた。</p> <p>今後は、市民制度の周知に努め、継続会員の確保とともに新規会員の増加につなげていく。</p>	新型コロナウイルス感染対策を講じながら、友好都市との交流事業や遠野郷人会総会を再開することができ、「で・くらす遠野」市民制度のPRができた。移住支援情報の提供を中心とした無料会員制度の新設により、新規会員の増加を図った。	
						実績値	16.5	29.2	37.3							
	【重点プロジェクト4】 「子育てするなら遠野」の推進	14	合計特殊出生率	人	子ども政策課	1.71 (H30)	目標数値	1.72	1.74	1.76	1.78	1.80	92.6	未達成	<p>合計特殊出生率は、1.63（令和3年度）で、目標に対し0.13ポイント下回ったが、前年より0.05ポイント増加した。相手県1.46を上回っているが、少子化傾向は依然として継続している。</p> <p>安心して産み育てられる環境づくりのため、妊娠婦あんしんサポート事業やすこやか子育て保健事業、幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリー・サポート・センター事業など、妊娠・出産から子育てまで来目のない支援を継続していく。</p>	感染拡大や長期化の影響を受け、子育ての負担や経済的不安などが出生数減の影響の一つと考えられる。安心して産み育てられる環境づくりのため、子育て世帯に寄り添った支援を継続していく。
							実績値	1.73	1.58	1.63						
		15	この地域で子育てをしたと思う親の割合	%	子ども政策課	91.1 (H30)	目標数値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	97.3	未達成	<p>目標数値から2.5ポイント下回ったが、前年度からは3.7ポイントの増となった。</p> <p>少子化や地域のつながりの希薄化により、親の子育てに対する不安や負担が増大している中で、妊娠期から子育て期まで、切れ目ない支援を受けられる体制をさらに充実させ、この地域で安心して子育てできるような支援の継続や環境の充実を図っていく。</p>	感染拡大や長期化に伴い縮小していた事業が、感染対策を取りながら少しずつ開催されるようになったことにより、子育て世帯の相談機会が増え、子育てに対する不安が解消されてきているものと考えられる。安心して産み育てられる環境づくりのため、子育て世帯に寄り添った支援をさらに継続していく。
							実績値	93.6	87.8	91.5						
16		わらすこ条例応援認定事業者数	事業者	子ども政策課	34 (H30)	目標数値	40	41	42	43	44	126.2	達成	<p>目標値である42事業者に対し、令和4年度は7事業者を新規認定、2事業者を更新認定し、認定事業者は53事業者となった。</p> <p>従業員が育児休業を取得しやすい職場環境の整備や従業員の子育て時間を確保するための措置など、事業者の自主的な取組により子育て支援が促進されるよう、今後も普及啓発を図りながら、認定事業者の拡大に努めていく。</p>		
						実績値	44	46	53							
17	ICT健康づくり事業参加者数	人	健康長寿課	1,042 (H30)	目標数値	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	78.3	未達成	<p>目標値には及ばなかったものの、新規参加者は170人、継続率は88.8%と高い水準であった。また、新たな施策として参加希望者向けの事業説明会や既に事業へ参加している者のロコミ等を活かしたお友達紹介・同時入会キャンペーンを新たに実施し、新規参加者の獲得に繋げた。国民の7割を占めるとされる健康無関心層が健康ポイントによるインセンティブ（動機付け）をきっかけに、無関心から健康維持へと行動変容できている。</p> <p>地域での計測会や運動教室、市内11の事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健步アンプサグー養成、地元商店街や観光施設と協働したウォーキングイベント等の実施により、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄与している。</p> <p>今後は市民の健康づくりを応援するとともに、ポイントの経済活動利用により地域の活性化に努めていく。</p>	感染予防対策を徹底し、新規参加者向けの集団説明会を新たに実施した。昨年度に引き続き、地域での計測会・運動教室の継続、屋外でのウォーキングイベント、冬季間の地区センターを利用したウォーキング機会の確保を図り、外出やコミュニケーション不足による健康二次被害の防止に努めた。また、ロコミ（お友達紹介キャンペーン）やすずらん振興協働組合への呼びかけなどの工夫により募集周知を行った。		
					実績値	1,448	1,477	1,487								

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	18	シルバー人材センター会員就業率	%	健康長寿課	100 (H30)	目標数値	100	100	100	100	100	93.7	未達成	<p>シルバー事業への理解と新規会員の獲得に向け取組を行ったが、令和4年度の会員数は前年度より4人減の207人となった。一方、受託事業における就業率は目標の100%を達成できなかったが、家庭等においての軽度な修繕や作業、市委託事業としての軽度生活援助事業等、地域に密着した就業機会の提供を行い、高齢者の生きがいの充実が図られた。</p> <p>今後も、働く意欲のある高齢者の会員確保と受託事業の新規拡大の支援を行っていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への不安から就業を見合わせる会員がいたことで、就業率の目標を達成することはできなかった。</p> <p>また、会員が利用者宅に赴く際は、マスクの着用や手指消毒など基本的な感染症対策を徹底し従事した。</p>
【プロジェクトX】 人と人とのふれあいによる “しあわせ度”の向上	19	遠野市ひとパワー (10の市民協働事業への参加者)	HP (ひとパワー)	経営企画課	45,010 (H30)	目標数値	45,000	44,500	44,000	43,500	43,000	49.9	未達成	<p>日本のふるさと「遠野まつり」は、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら3年ぶりに開催されたものの、半数の団体が参加を見合わせたことから、コロナ禍前の規模での開催には至らなかった。</p> <p>また、町民運動会は、新型コロナウイルス感染症の拡大から3年連続の中止となり、全体の目標値を大幅に引き下げる要因となった。</p> <p>令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことから、コロナ禍以前の状態に戻るよう、関係部署とともに市民協働の推進を図っていく。</p>	<p>19-1 日本のふるさと「遠野まつり」は、感染対策を講じながら3年ぶりの開催となった。</p> <p>19-6 介護予防に資する住民主体の通いの場合は、感染対策を講じながら、各地区での普及拡大に力を入れ、事業開始から連続での参加者増となった。</p> <p>19-9 町民運動会は、3年連続の中止となったが、5つの体協で代替イベントを開催し、合わせて293人の参加があった。</p>
	19-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	観光交流課	10,000	実績値	0	0	2,313					<p>3年ぶりに開催された今年の遠野まつりは、現在の開催方式（1日目まちなか、2日遠野郷八幡宮）となり50周年の節目の年となったが、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念され、団体数が例年の約半数に減少した。</p> <p>しかし、実際に遠野まつりが開催され、演舞する様子がメディア等に紹介されると、参加できなかった団体から「来年は必ず参加する」等の声が聴かれた。</p> <p>本格実施を目指す令和5年度にはコロナ前の開催規模に近づくと見込まれる。</p>	<p>参加団体の減少や一部ルート変更などの影響があったが、参加団体数確保のため代表者会議において、団体内での感染防止対策の周知や当日参加団体構成員へ抗原検査キットを配布するなど対策を講じた。</p>
	19-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	生涯学習スポーツ課	8,328	実績値	2,978	3,581	4,118					<p>遠野市民芸術祭や遠野物語ファンタジーなどの芸術文化事業参加者は、固定化・高齢化傾向にあり、目標値を達成することができなかった。</p> <p>今後は、より一層関係機関・団体と連携しながら、子どもから大人まで幅広い年齢層が参加できるような仕掛けづくりをし、長期的に芸術文化事業に携わることができるように取り組んでいく。</p> <p>また、より多くの市民が興味関心を持ち鑑賞するような芸術文化事業を企画していく。</p>	<p>基本的な感染対策（マスク、体温測定など）を講じた上で各種文化事業を実施した。</p>
	19-3	博物館講座等の受講者数	人	文化課	1,333	実績値	1,144	958	1,068					<p>市内小中高校と連携し、ニーズに応じた博物館教室を実施した。出前講座や特別展・企画展に連動したイベント、地域への移動展示などを積極的に開催し目標値を達成することができた。</p> <p>今後も関係機関と連携を深めながら事業を実施する。</p>	<p>講座開催の際にはアルコール消毒の設置、体温測定、定期的な換気を実施した。人数が多い時には、少人数のグループ分けを行い密にならないように努めた。</p>
	19-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	市民協働課	3,717	実績値	3,039	2,907	3,582					<p>全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから5年目の取組となり、新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小や中止した事業が39件あるが、遠野遺産や集会所の改修等ハード事業にも取り組み、令和4年度の参加者数は前年度と比べて675人増の3,582人となった。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症予防と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。</p>	
	19-5	環境整備事業（市内河川清掃・花いっぱい運動）参加者数	人	環境課 市民協働課	10,688	実績値	10,407	9,803	9,928					<p>（市内河川清掃：5,654人） 市内河川清掃の参加者数は前年比354人減の5,654人となった。河川の環境整備の必要性や市民の参加意識は依然として高いものの、人口減少や高齢化による参加人数の減少が続いている。</p> <p>河川清掃は環境整備を通じた交流の場にもなっており、市民協働により河川の景観維持や環境保全が実現している。</p> <p>（花いっぱい運動：4,274人） 花いっぱい運動の参加者数は、前年比479人増の4,274人となった。</p> <p>各地区センターや自治会館周辺の花壇整備を行い、地域を多数の花で彩ることができた。</p> <p>景観への配慮、世代間交流の場にもなっていることから、新たな担い手の参画も目標に、今後も継続して進めていく。</p>	
	19-6	介護予防に資する住民主体の通いの場への参加者数	人	健康長寿課	60	実績値	74	286	365					<p>コロナ禍の中で感染症予防対策を徹底し、住民主体の通いの場の拡大・拡充を図った。フレイル予防と住民主体による通いの場の必要性について保健推進委員を対象とした地区別研修を実施したほか、新規団体の立ち上げに向けた説明会や支援プログラムに沿った継続的な支援を実施した。</p> <p>また、リハビリテーション専門職及び運動指導スタッフと連携することで、スタッフの技術の向上及びプログラム内容の充実に取り組みむことができた。</p> <p>今後も事業を継続し、身体機能の低下や閉じこもりといったフレイルの予防に資する通いの場の拡充を目指す。</p>	<p>前年度から継続し、手指消毒やマスクの着用、人と人と距離の確保、換気など参加者全員が同じ認識で取り組めるよう情報提供を行う等感染症予防対策を徹底しながら新規組団体の募集や立ち上げ支援、定期支援を行うことができた。</p>
19-7	認知症サポーター養成講座受講者数	人	健康長寿課	190	実績値	181	368	288					<p>認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族への応援者（サポーター）として地域で活動する方で、全国的な取組が展開されている。</p> <p>小学校や老人クラブ、通いの場等地域で養成講座を行い、受講者に上手く伝わるよう工夫をしながら展開している。小学生を対象とした講座では、紙芝居や視覚教材等を活用している。</p>	<p>昨年度に引き続き、講座の中止等の措置は行わず、マスクの着用や適宜デンマークを活用するなど、会場の環境に合わせながら感染予防に努めた。</p>	

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	19-8	遠野市緑化祭参加者数	人	農林課	491	実績値	80	48	295					新型コロナウイルスの影響により、感染拡大を防ぐため、森林愛護少年団を含む市内一般参加者を対象に規模を縮小して緑化祭を行った。 令和3年3月に制定した「ふるさとの森を育み木と暮らすまち条例」の理念である市産材による川上から川下への木材資源の循環を目指し、持続的な木材生産の基礎づくりとしてカラマツの植栽を実施した。 緑化活動への意識向上、森林整備促進の機会となっていることから、今後も継続して実施していきたい。	新型コロナウイルスの影響により、例年のような500人規模の参加者を集めることはできなかった。
	19-9	町民運動会参加者数	人	生涯学習スポーツ課	4,498	実績値	0	0	0					市内一斉町民運動会として開催はせず、各町体協毎に代替イベントを開催することとした。令和4年度は、9町のうち5町で代替イベントを開催し、5町合わせて総参加者数は293人となった。	代替イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催した。
	19-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	生涯学習スポーツ課	6,106	実績値	5,384	4,126	0					令和3年度をもって遠野みらい創りカレッジ運営業務委託を終了したため、参加者数はなしとなった。	
【分野横断プロジェクト1】 地方創生拠点「遠野風の丘」発展プロジェクト	20	道の駅「遠野風の丘」の販売額	千円	産業企画課	597,266 (H30)	目標数値 実績値	597,266 329,186	697,266 570,985	727,266 644,578	737,266	747,266	88.6	未達成	新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなど、ソフト面の改善を支援した。 販売額は、オープン以来、過去2番目を記録したが、目標数値を達成することができなかった。	新型コロナウイルス感染症（※特にも第7派）の影響により、繁忙期である7月から9月にかけての販売額、入込数が低迷した。 感染予防対策として、体温計設備、パーテーションの設置などを行ったほか、店内喚起等を行いながら営業した。
	21	道の駅「遠野風の丘」年間入込数	人	産業企画課	885,187 (H30)	目標数値 実績値	885,187 549,235	985,187 689,333	1,005,187 735,465	1,010,187	1,015,187	73.2	未達成	新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなど、ソフト面の改善を支援した。 販売額は、オープン以来、過去2番目を記録したが、目標数値を達成することができなかった。	新型コロナウイルス感染症（※特にも第7派）の影響により、繁忙期である7月から9月にかけての販売額、入込数が低迷した。 感染予防対策として、体温計設備、パーテーションの設置などを行ったほか、店内喚起等を行いながら営業した。
【分野横断プロジェクト2】 遠野ふるさと再生プロジェクト ～ホップの里からビール の里へ～	22	ビールの里関連イベント参加者数	人	産業企画課	8,000 (H30)	目標数値 実績値	13,000 1,189	15,000 336	15,000 194	16,000	16,000	1.3	未達成	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、実施予定であったポップ収穫祭を急遽中止とした。 また、6月に実施のポップ夏下げ体験会、10月下旬の一番搾りどれたてポップ生ビール初飲み会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、規模を縮小するなどして開催した。 その他、ビールの里づくりの活動では、SNS等を活用して広く情報を発信し、サポーターの拡大につながっている。	新型コロナウイルス感染症（※特にも第7派）の影響により、実施予定であったポップ収穫祭を急遽中止とした。 また、6月に実施のポップつる下げ体験会、10月下旬の一番搾りどれたてポップ生ビール初飲み会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、規模を縮小するなどして開催した。
【分野横断プロジェクト3】 高校魅力化プロジェクト	23	地域みらい留学生の人数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値 実績値	11 1	11 0	11 3	11	11	27.3	未達成	令和3年度0人に対し、令和4年度の県外からの入学者数は3人と増加したものの、目標数値を達成することはできなかった。各高校の魅力発信を継続するとともに、魅力創出及び魅力発信に向けた支援に努めたい。	
	24	地域社会から高校への応援者数	人	学校教育課	2 (H30)	目標数値 実績値	4 3	6 1	8 1	10	10	12.5	未達成	令和4年度の寄附件数は昨年度と同数の1件であった。一方で、高校への支援活動者数は、両校の探究プロジェクト等による関わりによって増加している面もあることから、更に関係を深め、応援者数の確保に努めていきたい。	感染症対策のため学園祭などのイベントが制限され、地域社会と高校の交流の場が減少した。
	25	地域みらい留学フェスタの参加者数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値 実績値	12 191	24 161	36 212	48	60	588.9	達成	地域みらい留学フェスタ（合同説明会）の開催方法にオンライン開催も含まれたことから、遠方からの参加も容易となり、目標数値を大幅に上回った。両校の参加者数は遠野高校133人、遠野緑峰高校79人となり、ともに令和3年度よりも参加者数が増加していることから、今後も魅力発信に努めていく。	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏での地域みらい留学フェスタの開催の他に、オンラインでの合同説明会も開催され、遠方の学生がより参加しやすい環境が整備された。
	26	遠野高校への入学者数	人	学校教育課	124 (H31)	目標数値 実績値	130 94	130 105	130 117	130	130	90.0	未達成	目標数値は達成しなかったものの、令和3年度の入学者数105名に対し、令和4年度の入学者数117名と増加した。令和4年度に両校と市で結んだ「地域・世界の未来を創る人材育成に向けた連携に関する協定」（3者連携協定）に基づき、遠野高校との意見交換を踏まえながら魅力発信等を継続し、入学者確保に努めていく。	
	27	遠野緑峰高校への入学者数	人	学校教育課	58 (H31)	目標数値 実績値	60 57	60 42	60 42	60	60	70.0	未達成	令和4年度の入学者数は42名であり、昨年度と横ばいの結果となった。令和4年度に両校と市で結んだ「地域・世界の未来を創る人材育成に向けた連携に関する協定」（3者連携協定）に基づき、遠野緑峰高校との意見交換を踏まえながら魅力発信等を継続し、入学者確保に努めていく。	
	28	高校とのコンソーシアム団体数	団体	学校教育課	39 (H30)	目標数値 実績値	40 62	42 71	43 77	44	45	179.1	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校と地域の団体等との協働体制によるコンソーシアムを形成し研究等に参画した団体が遠野高校が9団体、遠野緑峰高校が68団体となり、目標数値を達成した。両校への応援者の確保に繋げていけるよう取組を継続していく。	探究活動の実施にあたっては、感染予防に配慮しながら実施した。
	29	高校への支援活動者数	人	学校教育課	227 (H30)	目標数値 実績値	230 239	235 291	240 393	245	250	163.8	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校が行う地域探求活動や探究活動に対する地域の支援者数は、遠野高校が185人、遠野緑峰高校が208人となり、目標数値を達成した。今後もこの取組を継続し支援活動者の増加に努めていく。	探究活動の実施にあたっては、感染予防に配慮しながら実施した。

地方創生推進交付金・地方創生応援税制のK P I の実績について（令和4年度）

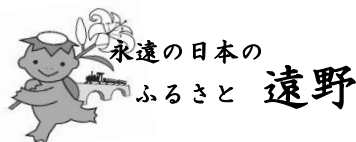
資料No.3-5

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果	事業の効果	事業の評価	
													事業で得られたノウハウ			
○地方創生推進交付金【単独】 自動車産業集積化加速 ローカル連携・グローバル展開プロジェクト	1	市内自動車関連組立製品製造出荷額（増額分）	千円	商工労働課	目標数値		90,000	90,000	120,000	50,000	50,000		【事業の成果】 半導体不足による日本の自動車メーカーが減産した影響などをうけ、6.8億円まで減少した。	地方創生に一定の効果があった	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		190,000	0	70,000	-40,000		【事業で得られたノウハウ】 遠野市に整備された物流拠点から、復興支援道路重要港湾釜石港を經由した海外への新たな輸出ルートが確立されたため新型コロナウイルスの影響を最小限にすることが出来た。				
	2	自動車関連企業 設備投資額	千円	商工労働課	目標数値		290,000	300,000	33,000	20,000	20,000		【事業の成果】 今後の自動車関連産業の取引拡大を見据えて、当初計画の大幅を超える設備投資が実施された。	地方創生に一定の効果があった	地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった。	
					実績値		12,462	694,751	272,830	45,410		【事業で得られたノウハウ】 積極的な設備投資をすることで、人手不足を補う生産性の向上につながった。				
	3	自動車関連企業 現金給与総額（増額分）	千円	商工労働課	目標数値		20,000	45,000	35,000	20,000	15,000		【事業の成果】 世界的な不確実性の高まりが懸念材料となり、従業員への給与支給額は現状維持となった。	地方創生に一定の効果があった	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		30,000	10,000	30,000	0		【事業で得られたノウハウ】 自動車メーカーによる減産影響があったものの、設備投資で生産性向上と雇用確保により、従業員への給与支給額は現状維持することが出来た。				
	4	とおのでくす&はたらく若者定着促進事業参加数	人	商工労働課	目標数値		260	480	485	490	490		【事業の成果】 事業説明会の開催や就職マッチングフェアへの出席等により、市内外からの人材確保を促進した。	地方創生に一定の効果があった	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値		306	283	273	839		【事業で得られたノウハウ】 本事業は終了したが、新規事業（市内人材確保推進プロジェクト）で人材確保の取組みを拡充した。				
○地方創生推進交付金【単独】 日本のふるさと遠野風の丘しごと創生プロジェクト	5	道の駅「遠野風の丘」販売額	千円	産業企画課	目標数値			597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		329,186	570,985	644,578			【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導や人材育成等においても、民間のノウハウを活用することにより、質の高いサービスの提供等につながった。				
	6	地域経済けん引事業者（ふるさと商社及びふるさと公社）の販売額	千円	産業企画課	目標数値			800,000	840,000	880,000	890,000	900,000	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 地域経済けん引事業者として、ふるさと商社の経営基盤強化を図るため、新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		414,712	535,423	641,957			【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				
	7	道の駅「遠野風の丘」入込数	人	産業企画課	目標数値			885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	【事業の成果】 入込数は、前年から増えたものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなどソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のK P I 達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値		549,235	689,333	735,465			【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				
	○地方創生推進交付金【単独】 市内企業人材確保推進プロジェクト	8	地方創生交付金事業により就職した就労者数	人	商工労働課	目標数値					20	20	20	【事業の成果】 事業に参加した企業において、目標を上回る就労者数を達成した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。
						実績値					26			【事業で得られたノウハウ】 市内事業所が自社をP Rする方法		
9		オープンファクトリー参加者数	人	商工労働課	目標数値					100	100	150	【事業の成果】 目標を超える参加者数があり、市内企業を広く周知することができた。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
	実績値								575			【事業で得られたノウハウ】 市内事業所がまとまって広報活動を行う方法。				

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果		事業の効果	事業の評価
													事業で得られたノウハウ			
	10	ユースエール認定、トライくるみん・プラチナくるみん、えるぼし・プラチナえるぼし、いわて子育てにやさしい企業等認証延べ事業者数	社	商工労働課	目標数値					2	2	2	【事業の成果】 就労環境を改善するための一つの方法として認証制度の認定があること、認証を得るために必要なプロセスがあることについて啓発することができた。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値					2			【事業で得られたノウハウ】 市内企業が認証を受ける方法。			
	11	新規学卒・Uターン・求職者全体の就職件数	人	商工労働課	目標数値					50	50	50	【事業の成果】 就職件数が昨年より増加した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値					138			【事業で得られたノウハウ】 市内事業者が自社をPRする方法			
○地方創生推進交付金【単独】 とびあ・まちなか再生プロジェクト	12	中心市街地活性化センター（とびあ）の販売額	千円	商工労働課	目標数値					1,209,940	1,229,940	1,249,940	【事業の成果】 産学官連携により、学生の発想力を活用した省人化システムを開発した。また、集客力向上を図るため、コワーキングスペース設置に向けた先事例を調査した。	地方創生に一定の効果があった。	目標達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値					1,178,016			【事業で得られたノウハウ】 先進地におけるコワーキングスペースの運営方法等。			
	13	中心市街地活性化センター（とびあ）の入込客数	千人	商工労働課	目標数値					692	706	720	【事業の成果】 産学官連携により、学生の発想力を活用した省人化システムを開発した。また、集客力向上を図るため、コワーキングスペース設置に向けた先事例を調査した。	地方創生に一定の効果があった。	目標達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値					640			【事業で得られたノウハウ】 先進地におけるコワーキングスペースの運営方法等。			
	14	中心市街地（まちなか）商店街販売額	千円	商工労働課	目標数値					2,334,305	2,408,305	2,500,305	【事業の成果】 まち・まるごと産業フェスタに關し、産業分野の事業者との協働が図られたとともに、これまで個別に開催されていた活性化イベントを集約し、中心市街地全体を会場としたことにより、来場者がまちなかを回遊し、賑わいを創出することができた。	地方創生に相当程度の効果があった。	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。	
					実績値					2,438,637			【事業で得られたノウハウ】 まち・まるごと産業フェスタの企画・運営方法について、市内事業者と連携した取組を実施することができた。			
	15	中心市街地（まちなか）商店街入込客数	千人	商工労働課	目標数値					859	879	899	【事業の成果】 まち・まるごと産業フェスタに關し、産業分野の事業者との協働が図られたとともに、これまで個別に開催されていた活性化イベントを集約し、中心市街地全体を会場としたことにより、来場者がまちなかを回遊し、賑わいを創出することができた。	地方創生に一定の効果があった。	目標達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値					844			【事業で得られたノウハウ】 まち・まるごと産業フェスタの企画・運営方法について、市内事業者と連携した取組を実施することができた。			
	○地方創生推進交付金【広域】 ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業	16	ICTヘルスケアサービスによる5市町の医療費・介護給付費の抑制額（2018年度対比）	百万円	健康長寿課	目標数値				560	890	1,270	【事業の成果】 医療費600万円、介護給付費230万円の抑制額が確認され、抑制効果がみられた。最終年度での達成に向けて、エビデンスに基づいた事業実施により抑制額の増加を目指している。	地方創生に相当程度の効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
						実績値				480	830		【事業で得られたノウハウ】 本市の参加者分析結果から、医療費・介護給付費の抑制効果を高めている要因が明らかになったことで、歩数の少ない参加者層（低空飛行層）に対する有効な対策等を取り入れた事業展開を図ることができた。			
		17	ICTヘルスケアサービスの参加者数（2018年度からの継続参加者含む）	人	健康長寿課	目標数値		7,200	10,770	14,000	17,800	21,450	【事業の成果】 健康寿命の延伸、医療費・介護給付費の抑制、地域の活性化を目指し、飛び地連携する5市町で取り組んでいる（4年目）。本市の新規参加者は170人、継続参加率は88.8%と高い水準であり、本事業により健康無関心層を健康維持へと行動変容することができた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
	実績値						7,102	10,520	13,145	15,783		【事業で得られたノウハウ】 事業評価により、本市の市民に適した対応方法、例えば参加の決め手の9割がロコミ、スタッフの確実な声かけが健康行動の変化につながっていることなどのエビデンスに基づくノウハウを得られ、事業展開に役立てることができている。				
18	健康アンバサダー養成人数	人	健康長寿課	目標数値		700	700	400	400	300	【事業の成果】 地域の中で正しい健康情報を伝える役割を持つ健康アンバサダーを、本市で新たに84名養成した。保健推進委員への研修に取り入れたことでその後の地域活動に役立てることができた。連携する他市町で目標値に届かず、全体数値が目標達成とはならなかった。	地方創生に相当程度効果があった。	目標を達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。			
				実績値		821	289	228	369		【事業で得られたノウハウ】 身近な存在である健康アンバサダーからの啓発は、健康無関心層へのアプローチの有効性が確認できており、事業の成果を得るための健康アンバサダーの活用等についてノウハウを得ることができた。					

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果		事業の効果	事業の評価
													目標数値	実績値		
○地方創生推進交付金【広域】 高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト	19	「高校を核とした関係人口」の数	人	学校教育課	目標数値			2,560	3,176	3,631	4,266	4,696	【事業の成果】 広域連携で実施している本事業については、広域プロジェクトで設定した「高校を核とした関係人口の数」の目標数値3,631人に対し、3年目（令和4年度）実績値が5,194人と目標を大幅に上回り、広域プロジェクト全体において目標達成された。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			4,239	3,948	5,194		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組が情報共有され、事業を推進するうえでノウハウを得ることができた。				
	20	「都市部での地方高校全国説明会」参加者数	人	学校教育課	目標数値			2,293	2,543	2,899	3,329	3,759	【事業の成果】 継続的に説明会が開催されていることから、説明会に訪れる中学生、保護者等との接点の構築手法等の見直しが毎年行われており、参加自治体や参加校のPR手法等の技術力の向上が見られる。 また、この都市部での説明会のみならず、特定校の詳細を開きたい、別日に参加したいといったニーズに合わせた学校単独での説明会も開催されており、よりニーズに沿った事業展開がされている。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			3,456	3,004	4,368		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組の情報共有、オンライン開催の場合のプレゼン方法等、事業の成果を上げるためのノウハウを得ることができた。				
	21	「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト	件	学校教育課	目標数値			322	476	673	793	855	【事業の成果】 地域住民（農業者、民間事業者等）が高校生とそその地域の課題解決に向けた検討、学習等を通して、新たな地域の魅力発信コンテンツの創出、地元地域の魅力の再発見などにつながっており、地域と高校の協働による探究活動が全国的に広がり、地域創生のきっかけとしても重要なものとなっている。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			439	773	1,002		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組が情報共有されるため、事業を推進するうえでノウハウを得ることができた。				
	22	「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数	団体	学校教育課	目標数値			60	66	74	83	92	【事業の成果】 高校・地域・行政の全てに有益となるよう、学校現場と地域の連携体制構築の推進、魅力発信コンソーシアムの構築などを進めてきたことで、この広域プロジェクトは全国的に広がっており、新たに12自治体が加わった。	地方創生に相当程度効果があった。	地方版総合戦略のKPI1達成に有効であった。	
					実績値			68	78	100		【事業で得られたノウハウ】 本プロジェクトに参画している他の自治体や高校の取組が情報共有されるため、事業を推進するうえでノウハウを得ることができた。				
	○地方創生拠点整備交付金 遠野みらいづくりカレッジ拠点化推進計画	23	レストランの年間収益	千円	生涯学習スポーツ課	目標数値	0	3,000	4,000	5,000	6,000			【事業の成果】 令和3年度をもって食育カフェを閉店したため、収益はなしとなった。	左記理由により本年度においては、地方創生に効果はなかった。	左記理由により、事業を実施しなかったため、未達成となった。
						実績値	0	2,040	1,418	1,175	0		【事業で得られたノウハウ】 上記理由により、営業を行っていない。			
		24	レストランの年間利用者数	人	生涯学習スポーツ課	目標数値	0	3,000	4,000	5,000	6,000			【事業の成果】 令和3年度をもって食育カフェを閉店したため、利用者はなしとなった。	左記理由により本年度においては、地方創生に効果はなかった。	左記理由により、事業を実施しなかったため、未達成となった。
						実績値	0	2,355	1,537	1,996	0		【事業で得られたノウハウ】 上記理由により、営業を行っていない。			
25		地場産品を活用した特産品開発件数	件	生涯学習スポーツ課	目標数値	0	1	1	1	1			【事業の成果】 令和3年度をもって遠野みらい創りカレッジ運営業務委託を終了したため、特産品開発はなしとなった。	左記理由により本年度においては、地方創生に効果はなかった。	左記理由により、事業を実施しなかったため、未達成となった。	
					実績値	0	2	1	1	0		【事業で得られたノウハウ】 上記理由により、業務を行っていない。				
26		道の駅「遠野風の丘」販売額	千円	産業企画課	目標数値			597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI1達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			329,186	570,985	644,578		【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導や人材育成等においても、民間のノウハウを活用することにより、質の高いサービスの提供等につながった。				
27		道の駅「遠野風の丘」入込数	人	産業企画課	目標数値			885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	【事業の成果】 入込数は、前年から増えたものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値を達成することができなかった。 新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなどソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI1達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			549,235	689,333	735,465		【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				

事業名	番号	内容	単位	担当課	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業の成果		事業の効果	事業の評価
													事業で得られたノウハウ			
	28	遠野ふるさと公社・高社の販売額	千円	産業企画課	目標数値			800,000	840,000	880,000	890,000	900,000	【事業の成果】 販売額は、前年から大幅に伸ばすものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標数値を達成することができなかった。 地域経済けん引事業者として、株式会社と商社の経営基盤強化を図るため、新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベント改善など、ソフト面の改善を支援し、施設の魅力向上に努めた。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			414,712	535,423	641,957		【事業で得られたノウハウ】 民間事業者の力を活用して事業を進めたことで、市場ニーズの把握、販売促進等のノウハウを得るとともに、経営指導、人材育成等のノウハウも得ることができた。				
○地方創生応援税制 企業支援による若者しごとサポート事業	29	奨学金返還支援数	人	商工労働課	目標数値		10	10	10	10	10	10	【事業の成果】 奨学金返還支援補助の実施により、市内中小企業への若年層の人材確保及び地元定着を促進した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値		16	11	14	15		【事業で得られたノウハウ】 奨学金返還支援補助のほか、若者人材確保に向けた関連施策との連携を構築することができた。				
	30	新卒者地元就業者数	人	商工労働課	目標数値		35	36	37	38	39	40	【事業の成果】 市内高校生等を対象とした企業見学会やインターンシップ、就職説明会等の人材確保に向けた取り組みの実施により、目標値を超える地元就職が図られた。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。	
					実績値		41	47	45	55		【事業で得られたノウハウ】 若者の雇用確保に向けた新規事業（市内企業人材確保推進プロジェクト）により、地元企業に倒るる認知度・理解度の向上による人材確保の取組を拡充した。				
	31	3年以上就業した定着者数	人	商工労働課	目標数値					30	25	35	37	【事業の成果】 若年者継続勤務奨励事業等の実施により、市内中小企業への若者の定着を促進した。	地方創生に一定の効果があった。	目標を達成できた。令和5年度も目標を達成できるよう取組を継続する。
					実績値					38	30		【事業で得られたノウハウ】 若年者継続勤務奨励事業のほか、若者人材定着に向けた関連施策との連携を構築することができた。			
○地方創生応援税制 遠野ふるさと再生プロジェクト	32	ビールの里関連イベント参加者数	人	産業企画課	目標数値			13,000	15,000	15,000	16,000	16,000	【事業の成果】 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、8月下旬に実施予定であったポップ収穫祭を急遽中止するとともに、その他のイベントについても規模を縮小するなどして実施した。	地方創生に相当程度効果があった。	目標は達成できなかったが、次年度以降のKPI達成に向けた有効な取組ができた。	
					実績値			1,189	336	194		【事業で得られたノウハウ】 ビールの里づくりの活動は、SNS等を活用して広く情報を発信し、サポーターの拡大につながっている。				



遠野市防災訓練の実施について

【発表の要旨】

9月10日（日）に市内全域で行う遠野市防災訓練の概要についてお知らせします。

【発表の内容】

1 目的

大規模な地震が発生した際の自主防災組織による避難場所等の開設や、避難行動要支援者の把握及び特設公衆電話の操作方法の確認を行う。

2 日時・場所

令和5年9月10日（日） 7時00分～8時00分

遠野市内一円 自主防災組織活動拠点（86箇所）・各地区センター

3 訓練参加機関等

遠野市、遠野市消防団、遠野市自主防災組織、市民

4 災害想定

2日前に発生した三陸沖が震源となるマグニチュード7.3（震度4）の地震により北海道から千葉県のパシフィック側に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発信されている。

午前7時00分、遠野市で三陸沖が震源となる震度6弱の地震が発生したことにより、遠野市は災害対策本部を設置し市内全域に「避難指示」を発令する。

5 訓練内容

(1) 自主防災組織運用訓練（自主防災組織活動拠点86箇所）

ア 自主防災組織災害対策本部設置訓練

イ 住民避難訓練（「安否確認」カード掲示）、避難情報伝達訓練

ウ 土砂災害危険箇所等確認（ハザードマップ活用）

エ 初期消火、救急救護訓練（職員派遣指定地区：11地区）

オ 安否確認 避難行動要支援者把握（訪問・図上）、「安否確認」カード確認等

(2) 消防団

ア 情報収集伝達訓練

イ 防災資機材取扱い訓練

ウ 管轄内巡回（急傾斜地、土砂災害危険箇所、「安否確認」カード確認等）

(3) 市・消防

- ア 災害対策本部員による訓練視察、講評（11地区）
- イ 地区センター開設、運営訓練
- ウ 地域避難者情報等収集訓練
- エ 岩手県災害情報システム入力訓練、情報伝達訓練
（地区センター → 市民協働課）

担当	遠野市消防本部消防総務課 副主幹兼危機管理係長 阿部直樹 電話 0198-62-2119（内線 204）
----	--

日本のふるさと

IWATE
TONO
MATSURI

遠野まつり

2023
9/16 SAT
17 SUN

16日
遠野市街地

開会セレモニー・開会行事
会場 / 一日市文芸点 10:30~
しし踊り大群舞
会場 / 遠野駅前通り 15:45~

郷土芸能パレード
会場 / 遠野駅前通り 11:30~
郷土芸能共演会・神楽共演会
会場 / 遠野駅前通り・市役所本庁舎 16:30~

17日
遠野郷八幡宮

開会行事
会場 / 遠野郷八幡宮馬場 12:00~
馬場めぐり・神楽共演会
会場 / 遠野郷八幡宮馬場・神楽殿 13:00~

遠野南部流鎗馬
会場 / 遠野郷八幡宮馬場 12:10~
※出演団体数により
時間が変更となる場合があります。



躍動 演舞
集え この先の未来も

神楽

太神楽

南部はやし

しし踊り

令和5年特別企画 **郷土芸能団体PRコーナー**

遠野市内の郷土芸能団体を紹介するグッズやパネルなど団体の歴史が
知れる展示、販売コーナーが設置されます。

日時 令和5年9月16日(土)

場所 遠野駅前通り「遠野まつり実行委員会」本部テント内



主催 日本ふるさと遠野まつり実行委員会
(一社)遠野市観光協会 TEL.0198-62-1333
お問合せ 遠野市観光交流課 TEL.0198-62-2111
8/10公開 遠野まつりと遠野の郷土芸能の詳細はこちら→



You can see the slide show by scanning the QR code.
您可以通過掃描二維碼查看幻燈片。



2023 遠野まつり行事日程

日本のふるさと



遠野市街地	時間	10:30 ~	11:30 ~	15:45 ~	16:30 ~
イベント		開会セレモニー 開会行事	郷土芸能パレード	しし踊り大群舞	郷土芸能共演会 神楽共演会
9/16 SAT 土	会場	一日市交差点	遠野駅前通り	遠野駅前通り	遠野駅前通り・市役所本庁舎
内容		勇壮な太鼓で開会。実行委員会会長挨拶後、猿田彦を先頭に出演団体の行列がスタートします。	遠野市内の郷土芸能が一堂に会し、勇壮優雅に舞う郷土芸能パレードです。	市街地開催で好評の、市内のしし踊り団体が集う大迫力のしし踊り大群舞を行います。	光り輝く『黄金のペール』に彩られた通り全体での郷土芸能共演。市役所本庁舎前では、共演ステージに神楽団体が集結します。

遠野郷八幡宮	時間	12:00 ~	13:00 ~	遠野郷八幡宮御神輿神幸	
イベント		開会行事 遠野南部流鏝馬	馬場めぐり 神楽共演会	16 土	八幡宮(8:30)~新張~早瀬町~材木町~上組町~新穀町~大工町~仲町~穀町~市役所本庁舎前(14:00頃)~一日市~新町~伊勢両宮神社(16:30)
9/17 SUN 日	会場	遠野郷八幡宮境内馬場	遠野郷八幡宮境内馬場・神楽殿	17 日	伊勢両宮神社(9:00)~遠野高校前~多賀神社前~市民センター前~新里豆腐店前~石倉~穀町~上組町~新張~八幡宮(11:30)
内容		長い歴史を誇る、南部藩独自の伝統的な流鏝馬を披露します。	伝統を誇る遠野郷八幡宮馬場に市内の郷土芸能が一堂に会し、勇壮優雅に舞う郷土芸能パレードや神楽の共演が行われます。		

※出演団体数により、時間が変更となる場合があります。

会場案内図



遠野の郷土芸能

神楽

遠野の神楽は、神人神楽と山伏神楽の系統で傳承されています。神人派は、ゆるやかなテンポで優美さがあり、山伏派は、早くて躍動感があります。遠野の郷土芸能の中で最も多くの傳承記録が残り、多様性があるのが遠野の神楽の魅力です。

南部ばやし

代表的な町方の踊りで、遠野南部 22 代直栄が、遊芸師に命じて、京都の「祇園ばやし」を参考に遠野郷の特色を入れて生み出した遠野独特の町方の踊りです。おはやしは、笛、太鼓、つづみ、三味線が調和し美しく、華やかな衣装や踊りは、あでやかで優美です。

太神楽

幕末の頃、伊勢から伝えられたといわれています。オカメ倉松という太神楽の名手が傳承に力を尽くし、今の大工町などに伝わっている町方踊りの一つです。

しし踊り

遠野郷のしし踊りは、前に垂れ下がった幕と頭に付いたカンナガラを操って踊ります。幕踊り系のカンナガラしし踊りで、遠野を代表する芸能です。また、太鼓系鹿踊りの行山流もあります。

田植え踊り

いつごろ遠野に入ってきたかは明らかではありませんが、古くから農作物の豊作予祝として踊られていたようです。歌曲、舞い方ともに優雅にして静的で、笛、太鼓は明るい雰囲気です。

さんさ踊り

素朴な中にも、きびきびとした動作は、熟練を要する踊りです。即興性と明るい民謡調の踊りとして伝えられてきたようです。太鼓と笛の音に合わせて、丸く輪になりながら踊ります。

“わ”で奏でる 東日本応援コンサート2023 in 遠野

わ

主催：“わ”で奏でる東日本応援コンサート2023 in 遠野実行委員会
特別協賛：セイコーグループ株式会社

**入場
無料**
(全席自由)

令和5年 **9月23日(土)**
遠野市民センター大ホール

開演(午後3時(開場 午後2時))

※ご入場には入場券が必要です。入場券は各プレイガイドでお求めください。

◆出演：三浦祐太郎、山口マリー、くるみee
遠野市民バンドニュー・リバティーズ、市内合同合唱団
遠野少年少女合唱隊、遠野高等学校吹奏楽部・音楽部
花巻北高等学校合唱部、釜石高等学校音楽部

◆共
◆主
◆企
◆画
◆制
◆作

催：遠野市 遠野市教育委員会
援：遠野市芸術文化協会 株式会社テレビ岩手 岩手日報社
管：一般財団法人遠野市教育文化振興財団
企画制作：株式会社バルケニック セイコーグループ株式会社

三浦祐太郎

母、山口百恵さんの
楽曲も歌います。

プレイガイド：遠野市民センター、とぴあ、みやもりホール、各地区センター、遠野市教育文化振興財団

お問い合わせ：“わ”で奏でる東日本応援コンサート2023 in 遠野実行委員会
(一般財団法人遠野市教育文化振興財団事務所内) 電話0198-62-6191 (内線221)